

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-152)、
廃棄物管理施設(127)、MOX燃料加工施設(2-104))」

2. 日時：令和6年2月19日(月) 13時30分～18時10分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大岡主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、山口係員

日本原燃株式会社

燃料製造事業部 燃料製造建設所 許認可業務課長 兼 再処理事業部
部長 他2名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和6年2月15日及び当日提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

- ・設工認申請の対応状況(次回審査会合での説明事項)
- ・代表設備とその差分の整理の考え方
- ・設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の設計項目の整理方針

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・設工認申請の対応状況については、前回の説明時から時間をかけて対応している項目の進捗等を明確にするとともに、具体的な設備の構造設計等の評価については、評価対象となる代表設備及び代表設備との差分等がわかるように構成を見直す。
- ・代表設備とその差分の整理の考え方については、具体的な設備の構造設計等に係る資料の作業プロセス等との対応関係を明確にして、各作業に共通する基本的な考え方と個別の留意事項を整理する。
- ・設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の設計項目の整理については、第36条の環境条件等で健全性を維持することにはしていない事象対応を明確にするとともに、多様性・独立性・位置的分散での対応については重大事故等対処設備の機能に関する各個別条文の設計項目で一体として説

明する際に事象対応の方針を明確にし、設計基準対象施設の設計項目への紐付け等の整理を進める。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

- 「設工認申請の対応状況について」
- 「代表設備／差分設備の整理の考え方」
- 「DB／SA の設計項目の整理方針」

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請

を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html
- ・ 令和6年2月15日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	公開しましたと、施設ヤマグチですとそれではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始しますと本日のヒアリングは令和4年12月26日に申請があった再処理施設と廃棄物管理施設、また令和5年2月28日に申請があった。
0:00:17	MOX燃料加工施設の設工認申請について、
0:00:21	資料をもとにヒアリング技術確認を行うものになります。まず規制庁側の出席者を紹介しますと本庁会議室からアライヤマグチ
0:00:31	とその他WEBからコサクをオカフジワラカミデハバサキオノ。
0:00:38	以上になります。それでは日本原燃の方から出席者の紹介と本日の議題の構成を説明し資料の説明を開始してください。
0:00:48	はい。日本原燃事務局の中浜です。
0:00:51	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:00:55	Steeringチームより、イシハラ、サポートメンバーといたしまして、セガワ、シミズ、
0:01:03	あと、MOX及び再処理の事務局参加させていただきます。
0:01:08	本日ご確認いただきます資料でございますけれども三つございまして、
0:01:13	施設工認申請の対応状況の審査会合資料の共通12%とですね、こちらの資料、
0:01:21	それと、代表設備、差分設備の整理の考え方、及びBSへの設計項目の整理方針、36条8条の竜巻、
0:01:32	以上三つの資料のご確認となります。
0:01:36	それでは説明の方開始、よろしくお願いたします。
0:01:43	はい、弓削西原でございます。資料が、すいません、ちょっともう、今日の朝1ということで提出になってしましまして申し訳ございませんでした。
0:01:53	まず、審査会合資料を、設工認の対応状況についての2ポツ、めくっていただいて1ページのところにポツと書いてありますこれ
0:02:04	最終的には、1ポツと組み合わせて、お出しをするのが、水曜日に出して金曜日のヒアリングの時には木曜日ヒアリング時には、1ポツ2ポツ合本社長お伝えさせていただきますが、
0:02:15	本日は2ポツのパートさらに日本のパートもですね、1ページの二つ目のポツ構造設計等を踏まえた解析評価と、僕説明グループ1、括弧評価と、
0:02:26	いう部分も、評価パターン(1)(2)(3)という三つパートありますが、評価パターン(3)については、本日提出したヒアリングということで今日の浅田させていただいたものは、

0:02:41	ついにという形にさせていただいております。
0:02:44	弁当。
0:02:46	目標設定グループ1の評価、税理士お出した資料の資料4関係も含めたヒアリングが、
0:02:54	今週の水曜日の午後、よってしております。
0:02:59	いえですね審査会合資料等の構成に加えて、資料4としての必要な修正というのもあると思うので、
0:03:10	本日やりとりさせていただいたものを含めてですね、水曜日のヒアリングの時にはこう直すということも含めて、ご説明ができるようにしていきたいというふうに思っております。
0:03:22	それでは、右下2ページからの、
0:03:26	すいませんで、右下1ページ下で二つ大きく柱を立ててまして1ページですね。
0:03:32	2ポツのところは、最初に廃棄物MOX含めた全体の構造設計等いかが対応状況ということで二つ目が、先ほど申し上げたもく説明グループの評価という構成にしております。
0:03:45	右下2ページのところが、1番目の中節になっております。
0:03:50	右下3ページ、ここで過去の審査会合を踏まえた経緯ということで、イマイをご説明さし廃棄物及びMOXの構造設計に係る対応状況ということ。
0:04:02	あとは僕説明グループ1の評価に関する説明というのを、今どうやってきたのかということ。
0:04:09	で、4ページ目が今回の審査会合のテーマということで今後の説明ということでございます。
0:04:17	これが前提等で1番目のパートの部分になります。
0:04:23	右下5ページからが、モック説明グループの評価と、
0:04:27	いうところになります。6ページ。
0:04:31	7ページ、8ページに、
0:04:34	全体のマトリックスで、構造設計評価と今回説明するパートというところの明示をさせていただいており、ございますこれは
0:04:44	進め方シェアでオダシマしたものの、
0:04:49	個別補足の番号だけを取ってですね。
0:04:53	あとは、6ページのみ左上にあります凡例通りに色塗りをしたと。
0:04:58	いう状態になっているものでございます。
0:05:03	9ページがですねこの解析評価等に係る説明として、
0:05:08	前回、整理方針を12月の審査会合でご説明しておりますので、そこからどういうことをやってきたのかということ。

0:05:18	大枠の話として、この 9 ページでご説明をしようということで、全体の解析評価に係る全体パートのところとして説明をさせていただきます。
0:05:28	10 ページからが、(1)の機能性の 1 から、適合性評価という評価パターン(1)の話をする。
0:05:37	ということで構成をさせていただきました。
0:05:41	はい。9 ページのところは、趣旨としては、解析評価等に対する、説明内容の拡充だけではなくて、解析評価等の説明をするにあたって必要になる構造設計等の部分にも、
0:05:55	着目して、説明の拡充を図っていると、いうことの説明をさせていただこうということでございます。
0:06:03	構成としましては 10 ページからが仮評価パターン(1)始まります。すべてのパート 1 をやろうと思っているのは、10 ページの表紙があって、
0:06:14	11 ページ、次のページには、この評価パターン括弧 1 の後、今回のユリウエキ受け皿施設改良エザキの評価に関わる部分として先ほどあった。
0:06:24	どういったところを拡充したのかと。
0:06:27	いうことの、このパートに特化した説明を書いているということでございます。
0:06:34	それを踏まえて、12 ページ以降に、資料 4 としての解析評価の説明に入るということで考えてございます。
0:06:42	このパートではありませんが、
0:06:46	兵庫パターン(イ)の場合は工業設計のところの説明を追加するという説明をしておりますので、この資料に入る前にですね資料 3 での拡充ポイントの説明をしていると。
0:06:59	1 構成にさせていただいてございます。
0:07:02	はい。12 ページからが資料 4 ということでこれ先週お出ししている共通 2 の資料 4 と同じものがついているんですが、
0:07:12	誤記等もあり、先週オダしたものから、
0:07:17	終わっているところのポイントがありますのでその説明を、
0:07:22	させていただこうと思います。
0:07:27	よくはですね。
0:07:30	はい。
0:07:34	27 ページの注 5 がございます。
0:07:37	この注 5 の後に、
0:07:41	この欠損部の考慮ということを 28 ページ以降に、
0:07:45	特に②番、①番。

0:07:51	①番②番込みですね、の代表の設備に対する、何をどういうふうに構造を、欠損部として考慮する形を考えたかと。
0:08:03	というのが 29 ページ以降に具体が入ってます。
0:08:06	先週お出したものはこの 29 ページ以降の(1)番から(8)番まで全部入れた状態で、個別相続の話と同じようにやったんですが、
0:08:16	これ最終的にAII39 ページの欠損分の合計を出すときに、(8)番だけは代表とは関係ない部分ですので、今回の資料では、先週出した資料 4 との関係でいくと(8)番だけ。
0:08:30	抜かせていただいたということがまず 1 点。
0:08:34	あとはですね、39 ページの、
0:08:38	表の気相部の体積の合計ですが、先週オダした時はすみません合計が、(1)から(7)番を足しても、
0:08:46	もともと先週書いてあった数字が 5 に幾つだったと思うんですけどその後経緯がなくてですね 1 慣例な誤記でございます。
0:08:54	これを 56657 という正しい数字に直すというのが、請求を出した方から弁護士に変わっているところになります。
0:09:03	はい。
0:09:05	0
0:09:09	まず、残期校正を受けますが、
0:09:13	40 ページからが、(1)機能水の評価パターン(1)の管理不良の件でございます。こちら 41 ページに、資料 4 に入る前に拡充したポイントを、このパートに特化した拡充ポイントを、
0:09:29	説明をしているということ。
0:09:32	その上で 42 ページから資料 4 ということで、
0:09:36	先週お出したものと同じようなものが、付けさせていただいていると、いうことでございます。
0:09:44	こちら、こちらは特に先週オダしたものをカタカイトところはございませんか。関戸アリマ千賀。
0:09:52	一応資料としましては、
0:09:54	先週西武先週か、
0:09:57	のヒアリングでのやりとりを踏まえまして、
0:10:00	例えば 56 ページのような、風量決定因子に関するグローボックス繋がってますので、どういう単位でと
0:10:11	設定しているのかと、インとアウトがどうなっているのかという説明を拡充をしないと。
0:10:15	いうことをさせていただいてございます。
0:10:19	はい。アーク等は、

0:10:24	この下、評価パターン(1)の風量保険が、そのあと、
0:10:31	78 ページまで続きまして、79 ページからが評価、また、(2)の
0:10:37	搬送設備の必要容量低角に関する設定根拠ということでございますこちらの構成としては先ほどと同じように、
0:10:46	80 ページのところに、拡充ポイントこのパートに特化して拡充ポイントを説明をさせていただいた上で、ここについては 81 ページから資料 3 としての拡充ポイントということを、
0:10:59	説明をさせていただいてございます。
0:11:01	一つは、システム設計として 82 ページから、搬送設備は何を対象とするかということの、説明文とあとは搬送設備自体を累計するというような説明を、
0:11:14	拡充をしたということでございます。
0:11:17	86 ページからが資料 3、0 ニイヌマ構造設計部分でございます。
0:11:23	ここで、
0:11:26	こちらの完全なミスですけども、
0:11:29	86 ページからこれ清庄田氏、キタノコウなってます。
0:11:34	87 ページ、88 ページのですね構造設計の部分で、
0:11:39	以前まで資料 4 を作らないで資料 3 の②の中で、設計として、要領の評価まで、やろうということで書いてましたところの直りをですね資料 4 を作った時も直さずに、
0:11:52	そのまま残してしまっているのが、
0:11:54	80 の例えば七、八 17 ページの点線、緑点線のところですね、融度とか、搬送物とか、低角先の話を書いていると、実際は資料 4 で容量の評価をやるとなった時に
0:12:07	これ自体の内容は資料に預けて、資料 3 から資料に飛ばすと、ということのリンケージを図るという整理をする必要があったんですが、ここは完全にすいません。
0:12:17	家がついていなかった部分でございます
0:12:21	どういうふうなお伝わアノツユキ議員もお話できるようにさせていただきます。はい。
0:12:28	資料の 4、低角の話の資料 4 アリマのが 94 ページですねということでございます。先ほど、整理をした累計と、閉じ込めとの関係でグローブボックス内外、
0:12:41	あと定格荷重の最大過剰ぜび、飯野関係での裕度が小さいものをピックアップして、容量が足りているか、セトの確認をしているということでございます。

0:12:52	98 ページから評価は(3)ですが、99 ページに書いてあるについて、本日の夕方お出しをする資料で、この部分のパートを
0:13:03	紐付けを最後しようということで考えているところでございます。
0:13:08	はい。説明は非常に、
0:13:12	はい。規制庁の荒井ですけど。
0:13:15	この介護資料、
0:13:19	の構成としては、1 ポツで地盤関係があるので、1 ページ目で、2 ポツという形で、
0:13:25	書いているんですけども、
0:13:27	2 ポツの中でも、
0:13:30	この後にグローブボックスの耐震のやつもガッチャンコってなった場合に、説明時間とか、説明するポイントってどのように絞られようと考えてますか。
0:13:42	はい。人間の仕様でございます。はい。
0:13:46	現状説明時間お出ししているのが 20 分で決定をさせていただいてございます。
0:13:52	耐震のパートを含めると、20 分がちょっときついかないと思ながらも、20 分以上だったら説明してもらおうということも気もしてまして、
0:14:02	それぞれのポイントでの、今回、構造設計等を踏まえて評価として、整理をしないといけないと考えたポイントと、
0:14:14	累計であったり代表の選定だったり、それに基づく評価の流れであったりということで解析評価として押さえるべきポイントをどう考えたのかというところをピックアップして説明をしようかな。
0:14:26	ということでそれぞれのページをすべてというよりは、そういうところを絞って説明をさせていただこうと思ってました。
0:14:34	はい。規制庁の新井です大体後半のイメージは合ってるかなあと思って、あと 20 分以上っていうところも、日疲れとかもありますのでそこは、
0:14:45	時間厳守なのかなとは思いますが。
0:14:48	それで、
0:14:50	確認なんですけども、
0:14:52	まずリード文みたいなのところに当たり、
0:14:57	該当するところについてまず確認していきたいと思うんですが、9 ページまでですかね。
0:15:04	右下 9 ページですか、PDFで言うと 10 ページね。
0:15:08	までで、
0:15:11	これまで何をやってきたかっていうのは、
0:15:16	右下 3 ページ、PDFで 4 ページ、PDFで今後言いますけど、

0:15:23	過去の審査会合を踏まえた経緯っていうところを書いてあって、
0:15:27	それあのMOXの今回の説明については、下の方の、
0:15:32	括弧で抱えている部分だと思うんですけども、
0:15:37	ページをだ一つとめくっていくと、
0:15:41	10 ページ目ですかねPDFの、
0:15:44	10 ページ目でも、過去の会合を踏まえて、
0:15:48	これまでやってきたことっていうところはまとめられているので、
0:15:52	今のページ等、
0:15:54	今のこの 10 ページ目とさっきの 4 ページ目をガッチャンコした方が大分見やすくなると思っていて、
0:16:01	あと評価パターン(1)とか(3)の説明っていうのも、
0:16:06	この 10 ページ目以降から出てくるんですけども、
0:16:11	そこの説明がないのですよね、ちょっと唐突感が審査会合資料として出てきてしまうので、ちょっとそこの、なぜこのパターンでやったのかっていうところも、一行程度で、つけ足していただけるとありがたいんですがいかがですか。
0:16:32	乾西浦でございますすみませんちょっと通信がよくなくて前半部分がうまく拾えてないんですが、今言われたのはPDFの 4 ページで言う、MOXの説明グループ時評価に関する、
0:16:46	これまでのやってきたことの説明と、右下PDFで言うと 10 ページですね、これを合体してなるべく前に持ってって、
0:16:58	説明をしてかつ評価パターン(1)(2)(3)みたいのがどっかでできたかも含めて説明をするという、主麻生です。
0:17:06	わかりましたはい。ちょっと修正をすることを考えますはい。
0:17:11	はい。
0:17:11	それで多分別のページになってしまうのかなと思うんですけども、先ほどの右下 4 ページ目っていうのは、
0:17:19	MOXのことについてはですね、それでまとめていただけると、費用、非常に今回の会合のポイントとしては見やすいのかなと思いますよろしくお願いします。
0:17:31	はい。イケダでございます承知いたしました。はい。
0:17:34	あとは、PDFの 7 ページ目で、
0:17:40	進捗管理、
0:17:41	進捗というかどこまで説明しましたかっていう実績。
0:17:46	と、今回の説明範囲が塗られているところもあるんですけど、
0:17:50	これもちょっと唐突感があるかなと思っていて、
0:17:57	これの、

0:17:59	説明っていうのは特段その前のページで、
0:18:02	言及はしてないんですよ。
0:18:10	はい。日本原燃新保でございます。はい。そうですね。
0:18:14	特に書いてないので今回そうですねこの整理をするにあたって、構造設計と解析評価の部分の、
0:18:24	説明の紐づけていうか関係性を整理して、どの説明グループで解析評価に関するのをやるのか、どの説明グループってよりも、
0:18:34	野瀬行動に係る説明グループの後に、その評価に係る説明グループの話をするのかと、ということがわかるような整理をした結果としてこの表が出てくると。
0:18:46	いうことをリード文で書いてこの6ページからのご説明につなげた方がいいですかね。はい。はい。
0:18:54	一言で書くんですかねそれもそれで。
0:18:58	この表で言ってしまうと、ピンク文字とか水色文字とかってというのが、あんまり判例として入っていないっていうのと、
0:19:08	あと右上の、
0:19:10	枠のやつが、2枚目のやつにはなくて、
0:19:14	違う表に見えてしまうっていうのと、
0:19:18	あとは青字の※書きって、前回の会合からの変更なんですかね。
0:19:24	前回会合からの説明の、
0:19:27	はい、そうですね、ちょっとこの表のところでは、佐伯に書かないとあんまりページとして意味をなさないものになってしまうので、
0:19:39	付けるのであれば正確に、はい。書いていただければと思います。
0:19:44	はい。日本原燃石田でございます承知いたしましたピンク呉だったり薄い青ですね、水色っぽいので、リン計上しているものをこれの凡例を、
0:19:55	アンドウぱことと、あと※書きかえているものこの位置付けを考えた上で、黒字にするのか、どうするのかっていうのも含めて
0:20:05	資料としての整合性というのも含めて整理をします。はい。
0:20:12	新沢ですよろしく申し上げます。他の。
0:20:15	右下ってPDFの10ページ目までのD度関係で、ありますでしょうか、規制上わからない。
0:20:23	じゃあ規制庁からです。ちょっと今の表で、太字プラス下線の右上のところ、多分もう太字プラスカセになってないんじゃないかなと思うんですが、
0:20:33	下線が引かれてないんですか。
0:20:36	そこの考え方を少し、
0:20:38	教えてください。

0:20:40	はい。日本原燃石田でございますこれは私がつくり直す時に完全にオカベそうした気もしますのはい。もともとあった内村木須カセんの説明と合わせて、ここに
0:20:54	正しく表記します。はい。
0:20:56	はい、鶴岡ですよろしくお願ひします。あと評価関係の 2-21 か 3-2 の方に入っている。
0:21:04	ピンクで構造を示しているものと、
0:21:07	青字で評価を示しているものの、
0:21:10	かつ前の方についてるのと後ろの方についてるのでこれってどういう説明になるんですか。
0:21:21	はい、新居上西様でございます。
0:21:25	前に書いてある括弧書きで書いてる文字は、沿い、それ自体のアイデンティティというか付番として書いてます。後ろに括弧Aクノはそれ自体の番号とひもづく場所がここだよと。
0:21:39	いうことがわかるように、日後に書いて、それを紐づけようとしてました。
0:21:45	はい、わかりました。その辺も判例整理されるときにわかるようにしといていただければと思います。
0:21:53	はい。日本原燃石田でございます承知いたしました。
0:21:57	規制庁加来です。あとちょっと前の方、先ほども少し議論あった、右、PDFで言うと 4 ページ目。
0:22:05	ページ数は通しページで、1 ページ目から表示から振っていただきたい。
0:22:10	4 ページ目の、過去の審査会合を踏まえた経緯の最初にも、最初に廃棄物管理の、ポツ一つ目のポツがちょっとあっさり過ぎていて、
0:22:22	これ 12 月の会合で、
0:22:24	しっかり指摘して今回のスキップするってということもあるので、いろいろな状況がきいているところで、時間がかかっているところとか、
0:22:35	どういうふうに進めているかっていうことを、ここはもう少し具体的に示された方が、会合としての
0:22:43	なぜこんなにこう時間かかっているのかっていうところを示された方がいいと思いますからです。
0:22:50	はい。弓削ニシダでございます時間がかかっている場合には内容が朝日とかプアなのはおっしゃっていただいている通りだと思います今何をやっていて、どこに時間がかかっているのかということが対外的にもわかるように、

0:23:05	この一つ目のポツ、もう少しブレークして、かつ、具体的話も含めて、算加来様にします。そうすると、必然的に先ほど指摘があったMOXの説明グループ評価も多分次のページになって、
0:23:19	独立してかけるのはい。整理をします。はい。はい、辻岡です。よろしくをお願いします。次のページの、今回審査会合と今後の説明のところの、
0:23:31	僕その説明グループ一井の
0:23:33	時にも、
0:23:35	乙が書いてあるんですが、ここもう、
0:23:38	今回ちゃんと説明を行うって書いてるのに、今後のところにも説明を行うって書いてるので、その、
0:23:46	具体的な内容を切り分け、そういった考え方を、やはり、ちゃんと書いた方がいいと思うんですが、そこはもう整理されてますよ。
0:23:56	はい。稲毛ニシダでございますはい。これ先ほどアライさんに正しく言っていたいただいた9ページのやつを持って10ページか、持ってくると、評価パターン(1)(2)(3)の話も入るので、特に今日各パターン(3)が、
0:24:11	今回だと、全体を示せないところがあるので、そういったことも含めて次回、今後の説明を継続してやっていくアイテムがこんなのがありますというのを説明できるように、この記載の拡充をしたいと思います。
0:24:25	はい。規制庁加来ですそれで大体明確になると思いますので、よろしくをお願いします。とりあえず前半以上です。
0:24:31	はい。
0:24:33	きちんとアライですけど、ほか、前半の10ページ目まで、
0:24:39	サブです。
0:24:40	ふうん。
0:24:45	点確認で
0:24:51	話のあった。
0:24:54	リリース5ページの、
0:24:57	今後の説明の一つ目のポツは、
0:25:08	うる。
0:25:10	再処理のグループ1はいいんですけど、
0:25:13	次の再処理管理MOXのグループについて書いてある趣旨は何ですか。
0:25:24	宮城ニシダでございますこれはすいません私が言葉をはしより過ぎまして申し訳ないです。最初に廃棄物管理の説明グループ2 括弧構造、再MOXの説明グループに括弧構造と、
0:25:34	ということで切り分けて記載をさせていただきます。
0:25:39	6コサクです。

0:25:41	切り分けるっていう言葉からすると意図的に再処理管理のグループにも書くと。
0:25:47	ということのようですけど何ですか。そうですねすみません日本ニシダでございます。
0:25:54	今書けないな、説明グループ1ぐらいしか。そうですね進め方の資料との関係も考えると、説明グループ1の構造と、最初に廃棄物管理の説明グループ1の構造と木造説明グループ2の構造と、
0:26:08	ということがまずキンキンその次の段階で出てくるものということで、説明をさせていただいてますそれと整合も含めて整理を、記載をかけ整理させていただきます。
0:26:20	はい。私はわかりました。
0:26:23	もしその先を書きたいのであれば進め方冷やで話をしているように全体としての体系を整理して、こういうふうに進めますということを出す必要があると思いますので、
0:26:37	町まだ次のフェーズなんだろうなとは思いますが、
0:26:41	でも次次回にはそのようなことも説明いただかないとは思いますが、
0:26:47	よろしくお願いします。
0:26:50	はい、稲毛西田でございます承知いたしましたおっしゃっての進め方でもおっしゃっていただいたように、3月の会合の時点で今後の展望というか進め方、
0:27:01	全体含めて説明できるようにということだと認識をしておりますので、少なくとも理事会はそういうのが必要だと認識をしております。
0:27:10	はい。補足です。次のですね、
0:27:15	藤。
0:27:16	AppM7 ページ8。
0:27:19	ページ9ページになっている表なんですけど、
0:27:23	今回は少し見直ばってってことなので、先ほど新居が言ったような対応でいいと思うんですけど、
0:27:31	次回以降って、これが最初に唐突に出てくる形になるんですね。
0:27:39	はい。弓削ニシダでございますはい。そうなりますねうん。
0:27:45	バランスが悪いのは理解していきなりこれ出てきて何なのって話もあるのではい。補足です。そうですね。
0:27:56	結構、内部でも説明して言われるんですよ、なんですけどお決まりでそのヘディングをつけてますっていうんで話をしているんですけど、
0:28:10	それは自分の方も一緒最初に56条の、次232条303036条の1、
0:28:21	おもむろにつくんですけど、

0:28:24	説明方針という表題になってるから、まだ切りセーフなのかもしれないんですが、
0:28:39	こっち、
0:28:40	今回の資料のこのページだとの説明となつてと。
0:28:46	ということで、表題でいくのか最初にリード文として1分追加をするのか、
0:28:57	何だかその資料を最初にこう、こういう、このついてる意味っていうのがわかるようにしておいてもらったらいいかなと思います。
0:29:06	はい。入園者でございますありがとうございますはい。もうちょっと唐突感がないようにこのページ、
0:29:12	3ページ分、つけている趣旨がわかる。
0:29:16	ちょっと隙間をつくって、はい。ベツショを書くようにします。はい。
0:29:22	はい、蘇武です。で、先ほど岡からもあったんですけど、
0:29:28	このページ記載ルールがちょっとあやふやになってて、(7)、括弧が二つ続いてますけどみたいなやつも、
0:29:39	何らかちゅ
0:29:41	凡例的に整理をされると言われてたような気はするんですけど。
0:29:47	もうその括弧括弧かっていう気もするし、
0:29:52	委員会なんかで見ると、2-1と2-2で括弧のつける場所が違ってると、
0:29:59	と。
0:30:00	さらに、木野4-2なんかは、
0:30:05	隅括弧括弧ってなつてて、何だこの隅角はって感じですし、
0:30:13	ちょっとまだ整理が足りてないなという気がしますので、どう書くんだというのも含め、見やすくなりをしていただければ、
0:30:26	はい、宮城西田でございますはい。ありがとうございます
0:30:30	そうですね委員会のところの2番目等の隅括弧4分ですね。はい。ちょっと記載のルール化をして、はい。頭につける意味、あと、お尻ですけど意味というのを整理をして、かつ、
0:30:43	まだ記載としても
0:30:48	と、7ページ、7ページの評価のところの構造用の1を4-2か、カンマ234って書いてますけど、ここはちゃんとそのままの番号書いてたりするところもあったり、
0:31:00	同じようにはしょつてたり、それもルールも統一できてないので、ちょっと
0:31:05	記載の仕方、整理をして、はい。かつ判例で何を書いているかがわかるようにということで整理をさせていただきます。
0:31:16	はい。コサク別で、先ほど話のあった10ページ目の前に持ってくるということですけど、

0:31:25	目次的な意味合いにもなると思うので、
0:31:28	ところ、これ入れ込む場所にするとって三瓶衛藤と10ページで5ページか。
0:31:36	P何ページって書くようにしているってことなので、
0:31:44	パターン1だと2種類、パターン2で種類パターン3と1種類ですかね、つくようで、それがわかるようにページ数を入れていただければと思います。
0:31:56	はい。与儀ニシダでございますはい。いたしました。10ページのやつを4ページぐらい持ってた時には、この矢羽根の数が、それぞれの
0:32:06	資料配ったことについてっていうものなので、この矢羽根間ベツショちょっと括弧を少しの間管理しながらも、当該ページ何ページから始まるかというのを括弧書きで書くということで整理をさせていただきます。
0:32:19	はい。
0:32:20	コサクです。よろしく申し上げます。以上です。
0:32:24	はい、規制庁のあれですけど、他、よろしいでしょうか。
0:32:30	そしたら、10ページ、11ページ目ですかね。
0:32:35	PDFで言うと11ページ目の、まずは漏えい劇関係の閉じ込めの話で、議論を進めていきたいと思います。
0:32:45	それで、PDFの12ページ目で、
0:32:48	ちょっとまた、先ほどの、
0:32:52	PDF4ページ目とかであったり、
0:32:56	とかと同じような内容で、
0:33:02	ね、この資料の示したい内容に入る前に、これを追加した理由とかが何かあるんですけど。
0:33:15	はい。与儀ニシダでございます正直、ナカマやったのは、私が説明する時に、ここのポイントを説明して、しながら、12ページ、13ページ以降ですかね。
0:33:27	を説明するというやり方もあるかなと思いつつも、このそれぞれの評価パターンの項目ごとに、具体としてどんなことを整理してきたのかっていうことをわかるようにした方が、
0:33:40	これまでのを、どういったことや、整理してきたかの具体がわかりやすいかな、目に見えてということで書きました。ただおっしゃっていただいたように、これがあるとですねこれがあつた。
0:33:52	この中身自体が、PDFで13ページでコウいないと。
0:33:58	何言ってるかがわかりづらいところもあるので、実際やるのであれば、このページは書かずにですね13ページ以降で説明の中で、こういったポ

	イントをそのページごとに説明をしていくというやり方もあるかなと思ってたと。
0:34:12	はい。
0:34:13	私もそれで、規制庁あれですけど私もそれでいいと思っていますね。
0:34:18	具体的に言うと、この漏えい関係でいうと、
0:34:23	PDFの 15 ページ目ですかね。
0:34:27	15 ページ目に、
0:34:28	評価プロセスが書いてあると思うんですけども、その右の吹き出しのところで、そういう視点が書かれていればいいのかと思っていますんですけど、いかがですかね。
0:34:45	はい。稲毛ニシダでございますそういったことも含めてはいちよつと工夫をさせていただきます。はい。はい。それで、このページでついでで確認というか他の
0:34:57	評価の評価パターンについても共通するところなんですけど、
0:35:01	やっぱり概要というところで評価プロセスオカ書きますっていうところで、
0:35:07	1 ポツから 5 ポツまでありますっていうのが書いてあって、1 ポツから 5 ポツで、それぞれのポツで、何をどのような視点でやるのかっていうところをしっかりと、
0:35:19	吹き出しに書いていただきたくてですね。
0:35:22	例えば、もう
0:35:26	受け皿とこの受け皿を設定するとかっていう、決め打ちでここで書かれてしまうと。
0:35:31	ここで、説明がクローズするような形に見えてしまうので、
0:35:37	どちらかというと、ぽつぽつで示す視点みたいなのところを書いていただいて、さっきの追加拡充した事項というところ絡めてですね、ボックスの中身をちょっと整理していただきたいと思うんですけどいかがですか。
0:35:56	はい。乳井西平でございますはい。承知いたしました。はい。
0:36:03	そうですね。
0:36:06	例えばですね。はい。妹尾様量を設定するとかですかね。ここの考え方が全く書いてなくていきなり、
0:36:15	何か漏洩量って設定することが目的みたいに見えてますけど、漏えい量の設定ってこういう考え方でやるんですみたいのを書きたいのがもとの 3.1 の主旨だったりするので、そこの関係で多分、
0:36:28	趣旨が合っていないってことで、今理解をしました。はい。おっしゃる通りで、例えば最初の 2 ポツの評価対象の設定のところ、
0:36:37	オープンポートボックスのグローブボックスの対象っていうところで、もう決め打ちしてるじゃないですか。

0:36:43	そういうところをもう少し
0:36:47	例えば、今回この後ある代表差分の話とかもあると思うんですけども、
0:36:52	評価対象とする設備、どういう視点で選ぶんですかっていうところが書かれた上で、
0:36:59	何するのかっていうところをもう少し、2 ポツの中で書いていただきたくてその結果は、その 2 ポツの具体的な項目の中で示していただければいいのかなと思っています。
0:37:10	そういうような形で、先ほど言われたように、3 ポツの漏洩量の話とかも、整理いただけると、非常にこことしては、この日全体のフローとしては見やすくなるのかなと思うんですが、
0:37:22	そういう形でよろしいですかね。
0:37:25	はい。弓削ニシダでございます趣旨、理解をしましたはい。ちょっとそういう形で整理をし、もう 1 回しますはい。
0:37:32	その方その中で、先ほど言っていたいただいたPDFの 12 ページの拡充ポイントも織りまぜながら、はい。拡充をしていきますはい。はい。
0:37:43	コサクです。ごめんなさい。
0:37:46	今荒井の言った方向でお願いしたいんですけど、ただちょっと気になる、今話をしてて気になったのは、
0:37:55	あまり具体じゃなくてよくて、
0:37:58	2 ポツって何なのって
0:38:01	ここで何がしたいのっていうことが大枠としてわかればよくて、内容はもう、2 ポツのところのページを見ればいいんで、
0:38:08	その点でポイントだけにしてください。で、その際に、
0:38:15	今回拡充工夫したポイントみたいなことはそれもポイントとしてわかればいいと。
0:38:21	ということだと思しますのでよろしく申し上げます。
0:38:23	はい、弓削西原でございます。はい。ありがとうございますこのままいくと、すごいセンチの北井クドウができ上がりそうです。はい。目的趣旨がわかる。
0:38:33	簡潔に、キーワードとして書くようにしますはい。
0:38:38	はい、古作です。それでですね本ごとでいうと、
0:38:42	この通し 15 ページの 1 ポツ概要カックスズキっていうこと自体がよくなって、
0:38:50	ここの評価プロセスの説明なり、資料の構成の
0:38:55	説明っていうことであればそういう旨をちゃんと書いてください。

0:39:00	はい。宮城ニシダでございますはい。ありがとうございますそうですね。概要のスズキに余りにも中身がありすぎるのはい。ここでいう評価のプロセス自体を、
0:39:10	ここで流れを説明するというので、項目立てて、はい。記載をするようにしますはい。
0:39:18	はい。昨日、できればここにまたページ数とかも入れてもらおうと、よりありがたいんですけど。はい。
0:39:25	そこはあれですかね。
0:39:29	今日通常にとこれでまた近くなっちゃうから、間野山住はしませんが、
0:39:34	はい。
0:39:36	はい、乳井西田でございますはい。はいありがとうございます。はい。では今この中で説明するとき、どこを見ればいいかがわかるような方がわかりやすいと思うんではい。あわせて整理をします。
0:39:49	はい。細木。
0:39:52	成長のあれですけど、先ほどのこの評価プロセスのまずタイトルみたいなのは、換気設備の方には会計あったので、
0:40:03	それと似たような形で評価プロセスを示すってところを書いて、ちゃんと個別に分けていただければと思います。
0:40:10	なので他の、
0:40:11	パターンについても同じような形で水平展開してですね。
0:40:15	どこの、
0:40:17	ポツで何をやってるのかっていうのは、わかるようなのが最初の方に来る形で、整理をした、していただければと思います。
0:40:25	はい。売り上げニシダでございます。協議いたしました。
0:40:30	はい。あともう一つは、ちょっと今日の議論ともかぶると思うんですけども、
0:40:36	代表の選び方の話が、この中には必要になってくると思うんですよ評価対象の話から、
0:40:45	それで、
0:40:49	例えばですね、16 ページに行くと、
0:40:52	いきなりサマリーとして、結果が示されてるわけなんですけども、
0:40:59	代表をどこで、
0:41:03	選定して、選ぶかっていうのは多分概要ではないはずなんですよね。
0:41:09	なので、今回だと、おそらく評価対象のところ絞られていくのかなとは思うんですけども。
0:41:18	まずそういう理解でいいですかね。

0:41:22	はい。与儀西平でございます。はい。これも場所はすみませんいろいろと悩んだのは事実です。はい。そうですね一番近いところは、うち正しいところというか、一番最もなところは2ポツの、
0:41:38	評価対象の設定の中で、
0:41:43	PDF16ページのような内容が、まず全体像が17ページに入ってますんで、それから、
0:41:49	それと多分受け皿との関係も示した上で、その中で先ほどあった15ページの評価と説明をそれぞれ決めていかなきゃいけない。
0:41:59	踏まえて、どう代表として考えるかということで、
0:42:03	整理かと思えますのはい。ありがとうございます。今後含めて整理をしていきます。はい。要するに規制庁荒井ですけど、今後も他の代表の議論とかある中で、評価プロセスせっかく示していただいたのは、
0:42:17	ですから、他のやつにも水平展開できるように、ここで代表の指定入れ込みますっていうの。
0:42:22	吹き出しかなんかで、明記した上で、ちょっとどこでどういう整理をしたのかわかるように
0:42:30	記載を見直していただければと思います。あともう一つは、16ページ目、PDFの16ページ目で、
0:42:38	例えば今回代表として選んだのは、x97っていうやつと、
0:42:44	あと構造的な差分として、最初のx90ってやつを選んできると思うんですけども、
0:42:51	最初の方で代表選ぶと、その代表に着目して、資料は展開していけばいいという話になってくるので、
0:43:00	例えば
0:43:01	この表で言う漏洩量の設定でいうと、(2)っていうのが、示す必要がなくなってくるような気がするんですよ。
0:43:10	なのでそういう点でスリム化ができるので、最初の方で代表を、まず、
0:43:16	し、代表の視点と、こういうので選べますっていうのをに入れておけば、あんまりそういういろんな資料を提示しなくても良いっていう整理もなるかなと思うんですけど。
0:43:27	この点についてはいかがですか。
0:43:35	ユリでございますすみません私がちょっとついていけなかったですね
0:43:40	(2)番って言っていただいたのは、すみません、漏えい量の設定で、最後の二つですね、表でいうと、一区29でX79、
0:43:50	はい、はい。
0:43:52	これでも最初の評価対象のところで、今の書いている内容を持ってきて、

0:43:58	いわゆる選定しませんで、やってしまえば、はい。はい。最後の方で、図とかいろんなのを、この共通 12 の中で示して、かつ、
0:44:07	いろんなことを書かなくても済むのかなと思ったんですけど。
0:44:11	そういうところですね。はい。はい。
0:44:16	はい。そうですねだから代表で設定したものの説明と、差分の説明で全体カバーできているのでそれ以外の扱って意味ではおっしゃっていただいている通りかと思うので、
0:44:30	はい。ちょっとその観点も含めて整理をします。はい。はい。
0:44:34	一方でこれが実は 0 ってな、白丸ってなってるけども、苦労三角んなるっていうところも、考え方によっては出てくるかもしれないので、そこら辺をうまく整理してですね、
0:44:46	差分として示すべき事項は何かっていうところも、あらかじめ押さえておくと、その後の資料がスリム化できるのかなと思います。
0:44:56	はい、日本イシダでございますはい。ありがとうございます。まずは 2 ポツにこの表の流れが来たとしても、まだちょっと単純に括弧番号だけで示しているのが、
0:45:09	本当にそれが差分がないのかどうかというところを、もう少し深掘りも、
0:45:14	含めてやらないと、
0:45:16	全体の流れにもならないので、そういったところのケアも含めて、整理を進めます。はい。
0:45:23	それでも補足です。今言われたところ ρ D、
0:45:28	気になったのが最初の説明で、
0:45:31	この 28 ページの (8) 番は、今回の代表では入らないので、落としましたっていうだけだったんですけど、(8) 説明しなくていいんですか。
0:45:43	はい。二本木ニシダでございます。これ主事個別ほど目は説明してるんですがこの説明の流れで、(8) 番の 0 事務を、
0:45:52	もともと書いてはいたんですけども、すいません私が最後の、
0:45:57	40 ページ、PDF40 ページの数字との関係で、ちょっと誤解を与えるやだなと思って (8) 番を今回は削ってます。
0:46:08	清正田精査資料 40 は (ア) 値も入れて、個別補足とリーページを同じようにやってはいるんですけど、ちょっとその辺は、すいません正直、私も迷いました。はい。
0:46:19	赤坂です。迷って落とすだけでいいのかわちゅう話があって、基本的には説明し切ってもらわないといけないので入れてくださいって入れ方なんですけど、ここからは相談なんですけど、
0:46:34	16 ページの表で見るとですね。
0:46:38	まず中心として、x97 で説明を一通りします。

0:46:44	ということで、そこ説明が漏れる事項としてx90、D、
0:46:51	漏洩量の設定の(1)②の説明をしますと、
0:46:57	言ってます。
0:46:59	プラス今の(8)のっていうのも出てくるんですけど、それをどこの位置でどう説明するのがいいかっていうことで、x97 一連というところで流す間間に入れるのかどうするかっていうところの考え方を整理しておけばあまり、
0:47:19	共通ルールにしてしまえば、悩むこともなくなるんだらうなと思ってんですけど、どうしていきますか。
0:47:25	はい。乳井ニシウラでございます。はい。
0:47:30	そうですね。ですね。
0:47:34	あれですかね、1 回代表で一気通貫説明した後に、
0:47:39	もう差分として書くところをピックアップして、それが前野代表であった説明のどこのリンクなのかと、いうことを示すことによって、それぞれパートを分けて、
0:47:52	書くことで、まず 1 回トライしてみます。おっしゃっていただいている通り、
0:47:58	個別補足の方では先ほどの、
0:48:01	X29 をですね、この欠損部の考慮の(8)番で使っているんで、そういったところも含めて差分として最後に、採用説明 1 年終わった後に、多分としての説明を入れ込んで、未計上図っていくということでちょっと整理をしてみます。
0:48:21	はい。
0:48:21	補足です。それが一つのパターンで、
0:48:25	今リンクを明確にしていただいたところのポイントになると思うんですけど、
0:48:32	幾らリーケージハッタとは言っても、
0:48:35	類似のところことが大分離れたところで説明されるっていうことになるので、それをいやあがあるとすると、
0:48:45	その項目の、
0:48:47	最後なりに差し込んでおくと。
0:48:51	これは代表では使わないけども、
0:48:55	他にこういうパターンがありますよと、いうことかなと、そのどちらかじゃないかなと思いますので、作業して落ち着き方を見てもらえればと思います。
0:49:09	はい、弓削西田でございます。はい、承知いたしましたアノちょっと出して幾つ来てみて、
0:49:14	どれがじっくりくるか整理をしていきますはい。

0:49:18	はい、蘇武です。そうするとこのペイジーがですね、またその第2の目次的なところになって、説明がつくと思いますので、三角のものはどういうふうと一緒にこんこの後のページで示していくのかとかですね。
0:49:33	そういうこともわかるようにしといていただければと思います。
0:49:38	はい。弓削ニシウラでございます承知いたしました。
0:49:42	ここでまたそうですね差分としての示し方っていうのを考えてそのリンクページも含めてあると。まあ、そうですね全体とか、ここでもわかるようになるので、そういった整理も進めます。
0:49:53	はい。コサクです。よろしくお願いします。このページよかったなと思うのは、
0:50:00	内容を一つ一つ説明してしまうとちょっと膨大になっちゃうところを、
0:50:04	本この3ポツ13ポツになり、その内数の(1)なり(2)なりと、
0:50:11	いうことの、項目番号だけで一応パターン化を示して、その
0:50:19	範囲をどこでセットを説明するのかということ、端的に示していただいと。
0:50:25	思いますので、
0:50:29	そういった趣旨を、まず最初に、
0:50:33	記載するんだろうなと。
0:50:36	思います。今その上の、
0:50:38	ポツ三つ目。
0:50:41	2、少し書いているかなという気もしますが、
0:50:50	ちょっと具体的に書かいてるところもあるので、
0:50:55	何、何ですかね、まさにこの後、話をする代表性設備の選定の考えの、他でも流用できるような基本的な考えで十分だと思うので、
0:51:11	そういう形で記載をいただければと思います。
0:51:17	その時に、
0:51:20	最初に荒井が言った次のページの、評価対象の選定っていうまず母集団が、説明があってその内数としてって、
0:51:31	内数じゃないやそれの中でどういう種別があり得るのかと。
0:51:35	いうことを記載いただけないので、最初
0:51:41	この評価ってどういうものであって、だからこういう範囲を対象としてます。そうすると、サンポちサンポニシノ言うが、
0:51:51	項目があって
0:51:53	それにパターンがあるので
0:51:56	全体を網羅できるようにっていうふうに、
0:51:59	論理展開をですね、整理していただければと思ってます。
0:52:04	意味通じましたから。

0:52:05	はい、日本イシダでございますはい。ありがとうございます。そうですね。書きながらも確かに16ページのところかなり細かいこと書いてますけど、この代表としてとかもしくは差分の示し方ってどういう。
0:52:18	考え方でっていうのを、頭にちゃんと書いてですね大枠の考え方を、またそれが2ポツの評価対象としての全体像を示したものと、この後説明する資格評価プロセスの項目。
0:52:31	のパターンの関係性と、いうことをまとめた表がになるということで、整理を進めます。はい。
0:52:39	はい。コサクです。で、ちょっとさらに脱線しちゃって申し訳ないんですけど、
0:52:46	16ページ見ると、
0:52:48	これって、資料4ですか。
0:52:51	椎野さんじゃないですかって思うようなことがいっぱい書いてあるんですけど。
0:52:55	資料3との関係ってどうなってます。
0:53:08	はい。弓削ニシウラでございます。そうだなあ。
0:53:14	多田理事、前3.1なんて、まさしく、
0:53:19	あるタンク天井部を受けられるようにしますみたいな。
0:53:22	それは大丈夫。
0:53:24	言ってるのは的にはそうでしょう。その具体です。そういうケースはまだ古瀬さん、そう言ってるやつっていうのも含めて対象物をずっと持つてるやつなには、
0:53:39	資料3の中で対象物は、
0:53:42	わしfailアシダものと、泉ちゃう資料にも含めて書いてるよね。
0:53:49	難しいなあ。
0:53:51	整理しないといけないですねはい。
0:53:54	システムとしての全体、永久イケダを設置する場所って一体どういう場所ですかっていうものを、システム設計みたいな話と、
0:54:04	構造設計として考慮する僕の一番、一番ってかタンク1個分、何ていうかな。
0:54:11	の全量を漏えいしても受けられるような漏えい液受け皿を設置しますとか、そういったことが構造設計の基本設計方針の関係では構造設計で書いてあることですね。
0:54:22	その、確かにその分が受けられるっていうことを評価で今見ようとしてるので、構造設計の大分アップしてるころはあると認識してます。はい。
0:54:34	はい。補足です。なので、前段となる資料3の骨格っていうのをまず、

0:54:43	示していただいて、それが資料3だとどこですっていうことを書いていただくと、詳細はそっち見ますので、
0:54:51	いうことになって、その方針、
0:54:54	が具現化できてるかっていう確認として、ガーダーを評価していかなきゃいけないので、は、
0:55:01	全体としては評価対象こういうものになりますよと。
0:55:04	いうことに繋がるんだと思いますので、整理よろしくお願ひします。
0:55:09	はい、与儀ニシダでございます承知いたしました。
0:55:15	蘇武です。原さんどうぞ。はい、規制庁の荒井です。
0:55:18	先ほど石原さんとのやりとりの中で、
0:55:22	気になったのは、
0:55:25	欠損部の堆積のところ、そこも種類の多さで代表を選びますって話が、
0:55:32	あったんですけども、
0:55:34	例えばPDFの30ページ目以降から、
0:55:39	代表がx97のわけですけど、
0:55:43	ここ0って書いたのって、
0:55:45	ある意味があるんですけど。もうこれが代表なんで0って書く必要もないような気がしたんですけど。
0:55:53	はい、西田でございますはい。意味はないですね。はい。寸法が書いてあるので、そこで0、あくまで
0:56:04	そういう意味で例を書いたんですけど、代表で説明する流れを作ってしまうと、おっしゃっていただいた事例とかなくても代表の受け槽も説明しているんだと、いうことになるよね。
0:56:15	いいよね。はい。ということだと思いますのではい。整理します。はい、わかりました。
0:56:21	利益関係私からは以上ですけど他規制庁側からよろしくお願ひいたします。
0:56:27	はい。超過です。
0:56:29	ただ、ちょっと、まず、
0:56:32	13ページになるんですかねPDFで起こって、今回施設内漏えい防止堰、説明しないと思うんですが、
0:56:43	おそらく今の資料上はそこその説明しないということを明確してないと思いますので、
0:56:51	共通順位なんかは、いつもここはいそうですねはい。消していただいていたので、そこはタテないようにお願ひします。はい。宮城ニシダでござ

	います。大変失礼いたしました。はい。おっしゃっていただいている通りなのではない。
0:57:04	記載を抜けないようにします。はい。
0:57:06	はい、光岡です。あと、ちょっと先ほど代表と差分の話があつて、ちょっと1点だけまだちょっとわかってないところがあつて、16 ページ目の3ポツ1のx90の差分は今の資料上はどこで表現されてるんですか。
0:57:31	はい。荷揚ニシダでございます。それでもあれじゃない。
0:57:36	PDFで言うと24 ページです。なんですけど、これでも、
0:57:41	オギ3フクイ、
0:57:42	いや、PDF一番確か24 ページ、そう。
0:57:47	左上に13 ページなんですよ。
0:57:50	これ、24、25 ページか。
0:57:53	PDFで言うと、0 っって書いてあつて、一応、久慈さん。
0:57:58	規制庁からスタート23 ページ目から25 ページの流れで、必要だからということで示されているので、はい。
0:58:08	先ほどの括弧が中継するっていう話もこれに、
0:58:11	順次入れば、
0:58:13	いいのかなと(8)をつけた状態で、月90人の話をすればいいのかなと思って、聞いていましたが、はい、二本木石原でございます。はい、ありがとうございます。はい。
0:58:24	そうですね差分と言いながら、差分が明確になってないっていうか、
0:58:32	ポリビンからの話がそれぞれだっけ。それが17、22 ページです。PDF 923 ページで、ロジック90から92が出てくるんですよ。うん。
0:58:47	それで混乱をしてしまったので、並び順とかどう考えてるんですかという質問をしたんですね。はい。
0:58:55	で、括弧102についてはx90を0にすると。
0:59:01	ということだったので、その点では入れていただいて構わないんですけど、この位置に入れるのか後に入れるのかということで、入れる際にはですね、
0:59:14	代表としてx97ではこの部分がないので、差分として90に示しますとかつていうことを書いてくれればわかりやすいと思います。
0:59:39	尾崎です。聞こえましたか。
0:59:43	今聞こえましたすいません、上間さん。
0:59:46	聞こえてなかった部分があったっぽいので、すいません。もう一度言いますけど。はい。
0:59:53	し23 ページは、x90について説明して、その前まではx97の代表で説明していると。

1:00:03	ということです。で、下 3 ポツ 1(1)②については、x97 カナイからコウして るのわかるんですけど、
1:00:13	そないから、差分としてこれで説明しますということがここにはないので、 何の話ですかってなるんですね。ですよ。
1:00:23	なので、まず最初、基本的な会議に書いた上で、代表では対象じゃない から、差分として関係する、育休中で説明します。
1:00:35	いうことを明記をすれば、この位置にあってもまだ読めますというところ です。後に出す場合は、後に出した最初のところで、その旨書くというこ とと、
1:00:48	はい、荻野石田でございますありがとうございます承知いたしました。
1:00:53	成長課です。あともう 1 点だけ水曜日の午後に具体的にヒアリング共通 にヒアリング予定してますけど、
1:01:01	例えばPDFの 21 ページ目の、
1:01:05	にちょっと依頼がありまして、
1:01:07	今、この共通 12 で書かなきゃいけないことと補足に振るべきことの考え 方を少し聞きたくてですね例えば、
1:01:17	(1)①の 2 段落目の、
1:01:20	20%線等の話があって、トダ容器出口から第 1 弁までの配管内に含ま れる液量は容器の余裕シロに含まれていることを確認しているという内 容がおそらく中規模に書いてある。
1:01:36	あるじゃないか。これは何か。
1:01:39	ど、個別補足か何か説明するとか、ありませんでした。
1:01:43	はい。個別補足で説明してます。注記が、風疹部になりすぎてて、ここも いじってないのはい。注記を飛ばす場所を正確に書けます。いろんな ところ、
1:01:55	ここに書いてある残量の増分。
1:01:58	あんた中途 4 とこの文書がどういう関係なんだって感じだな。
1:02:02	絵の上ですね上に書いてある暖流 20%の余裕数に含まれることを、
1:02:07	個別補足ウメダ予算で特会ということになりますはい。はい。超過して、
1:02:13	今、確認しているっていうことを、申請書上、共通 12 が添付書類だとし て、確認していることを、
1:02:23	書いて、
1:02:24	その内容を補足説明で示してるってあるんですけど、
1:02:29	申請書上はやっぱりその考え方とか、
1:02:33	までは、こっちがでかくてその考え方に沿って、どんな数字が並んでる かみたいな話が補足説明の方にあると思うので少し今日中に、
1:02:44	開くものと補足に書くもののバランスがまだちょっと、

1:02:49	取れてないんじゃないかなっていうところを、今回の共通時にいただいて、
1:02:54	特に搬送なんかもそうなんです各解析で、
1:02:57	プロなんです、その辺の認識はこちらの整理ではどうなってますでしょうか。
1:03:08	はい、米屋でございますおっしゃっていただいたように添付書類、共通2が添付書類だとして、考えて整理をしているので、現状、その設計方針なのか、
1:03:24	何だろう。
1:03:26	評価の何か最終的なゴールに必要な数字であったりとかですねそういったものを、あとこの中で定義をし、その根拠になるところは個別補足で説明しよう。根拠なり多くの考え方は、点、共通に書きながらも、
1:03:42	具体的にその根拠になるもの、試験であったりいろんな評価、確認試験をしていたり、あれですね、図面から引っ張ってきてこう、確認しましたみたいな。
1:03:55	みたいな話は個別補足でやろうかなというふうには思っていますが、そういった切り分けも確かにちゃんと定義をしていかないと、プレイブルーになるのでちょっと整理をさせていただきます。
1:04:06	はい、規制庁岡です。おっしゃっていただいた方針はおそらく合ってるのかなと思うんですが、20個のサンプルでいうと、容器の余裕資料に含まれてることをどういうふうに確認してるのかってところまで、こっちで書かなきゃいけないと。
1:04:21	思っているんですが、
1:04:23	すごい
1:04:25	タダ確認しているだけとなるので、はい。
1:04:30	わかりました。はいプロファイルを全体的に少し詳細は
1:04:34	水曜日のヒアリングで示していきますが、はい。また、見返していただければと思いますのでよろしくお願いします。はい。宮城西田でございますはい。ありがとうございます承知いたしました。
1:04:45	はい。規制庁岡です。私から以上です。
1:04:48	はい。コサクです。今の話で、
1:04:52	そもそものオオモト、
1:04:55	ですね。
1:04:56	漏洩量ってどう見積もるつもりなのっていうと、具体のその算出の根拠っていう以前に、
1:05:04	何を想定するっていうのは、すごいわかりづらくて。
1:05:09	48 ペイジーにちゃんと書かれて、

1:05:15	ないといけないと思うんですけど。
1:05:20	これ、どこに漏えいの想定が書いてあります。
1:05:31	はい。日本原燃比嘉でございます。はい。ほぼ具体書けてないと思ってます。
1:05:37	おっしゃっていただいたイメージです。このバッチなバッチで動くシステムの中で、
1:05:44	どこまで判断した、会館リークが起こったと、いうことを想定する時に、こっからここまでの分が漏えいとして考えなきゃいけない部位になりますみたいな、大枠の考え方みたいなものが、
1:05:58	そもそも、全く書いてないまま線で1度結んでるだけなので、その辺の整理を加えてしないといけないという認識しております。
1:06:08	はい、古作です。その通りです。
1:06:14	それで考えたときに、次のページ、19 ページ、x97
1:06:21	の概略図がついてますけど、
1:06:25	これは、
1:06:27	同意、
1:06:30	具合で、どういう漏えいの仕方をするっていうことになるんですか。
1:06:59	はい、宮城池谷でございます。
1:07:01	私もこれを作ってもらいながら、
1:07:05	合わないなと思っているのは、例えば、今、
1:07:10	第2 活性炭処理供給槽、オオノ下にバルブがあってここまでの距離で、範囲を対象にしていますが、これ、ポンプを止めて止まった入りんと揉めてる時だとしても、
1:07:24	秋谷のポンプが止まっているときは例えば想定するところ、液位は、この配管中に入っているんで
1:07:33	ポンプと弁の間に聞いてれば、この配管部分だったり、あと、供給槽の真下の配管とかできれば、
1:07:43	この配管プラス弁までの配管プラス供給槽の液が落ちる。
1:07:51	ポンプの先で結果第一化成た処理ピット、四つの、今、下の辺で振ってますけど、
1:07:59	大田多分動いて動いてる最中でいくと。
1:08:03	ポンプの出口の弁から受けソウノ頭の弁まで、この範囲が一連の流れとしてはアンバースプールになるので、この中の部分が全部落ちてくるということをそれぞれ想定するっていうようなことを、
1:08:17	多分言わないといけないのかなと思ってました。
1:08:23	大作です。今の説明、
1:08:26	もですね、まずプラント状態をどう管理するんだっていう宣言が必要で、

1:08:33	それを遵守するということが、
1:08:37	+
1:08:38	保安規定なり何なりっていう、
1:08:40	っていうことが必要になる
1:08:42	けど、
1:08:45	等、これはあれですか、火葬料には私学、
1:08:49	部分の最大と取ってくる
1:08:56	それでいい理由は、
1:09:00	ヤギのイシダでございます。今おっしゃっているのは、漏えい液受け皿の真上にある。
1:09:06	この第2活性炭処理供給槽から吸着処理供給槽までの間を、
1:09:15	漏えい元として、全量落ちたときにどうかということを考えなくていい理由は何かということですか。
1:09:28	すいません。ちょっとちゃんと聞き、
1:09:30	持ってなかったんですけど。はい。
1:09:33	この図で言えば、どちらを先に行った方がいいかな。内側からいくと、第1活性炭処理受けす。
1:09:42	処理液受け槽よりと。
1:09:45	うん。はい。
1:09:50	この配管。
1:09:54	の受け皿。
1:09:59	この関係でその差、もっと手前の供給側を、
1:10:04	の量も見込まなくていいのかっていうところ少しあるんですけど、
1:10:08	そっから来てずっと流れていった先の影響。
1:10:15	吸着処理供給槽、
1:10:19	野辺井口、吸着処理須藤へと。
1:10:24	いったところ、逆流
1:10:27	防止能逆止弁でもあればそこまでっていうことかもしれませんが、その範囲において全量ではなく部分的でいい理由。
1:10:37	です。
1:11:07	即答できないようであればまずそれを言ってくださいました。はい。ヤギニシダでございますはい。まずその全体の考え方をまず変えて、
1:11:17	この絵の解説に入るようにします。基本的に第2活性炭処理供給槽が一番左が言いますけど、さらに上流側、
1:11:28	からはバッチで液が流れてくるということでその都度、止められて、その範囲。ただ、そのバルブからのタンクまでの間に液が入ってるだろうということは、

1:11:40	想定しないといけないと思いながらも、重力で落ちてくるものは、その中に液が入っている。
1:11:46	ことまでちょっと想定しなくていいのかなと思ってちょっと端折ったりはしてました。
1:11:51	grassこつから、ポンプで送るのも一番ってことなので、第二課センター処理供給槽 2、満タンというか一番地区の液が入ってる時点では、
1:12:03	相神ぐらいに河成た処理等には、液が流れていってない状態ということ想定して、この範囲を区切るかなということで送り始めればっていうところで、
1:12:15	遅れ始めたとしても、結局ナガタ中に流れている量は、第 2 カセた処理供給槽に入っていたものが市場で流れて、次のタンクに行く。
1:12:26	ということからすると、全体としては、一番左のタンクに入っている分の量を考えておけば、この一番で流れていく、どこの場強気どこの断面を切ったとしても、この量でカウントできるかなということで今、
1:12:40	一番左側のタンクの量でカウントしようと思ってますけど、
1:12:45	昨日、
1:12:50	まずバッチというのわあ、
1:12:55	供給槽から受けそうで、次受け槽からまた供給槽へと。
1:13:00	いうのを順々にやっていくんだと、並行しては作業、この受け皿内の工程において、
1:13:09	並行して作業をしませんよっていうことでいいですか。
1:13:13	はい。日本原燃石田でございますそれを前提に、はい。今、考えてましたんでそういった前提も含めて書かないと、説明としては繋がらないと、いうふうに思いましたはい。
1:13:25	はい、コサクです。バッチ処理といっても、並行可能な部分があるので、そこはちゃんと宣言をしていただくというのも一つ。その上で、
1:13:36	何でしたっけ。
1:13:38	うん。
1:13:40	と。
1:13:41	残留液量というものがあってということの話があるんで、バッチ処理の間にも他のタンクではあったアンリユウ域があると。
1:13:52	ということだから、
1:13:56	受け皿の上にある、正液量でいうと、バッチ処理料だけではないと、しかも
1:14:04	一つのランクの
1:14:08	流域だけじゃなくて他のところの流域もありますよと。
1:14:13	いう状態において、

1:14:15	どこまでカウントする必要があるかというのは、先ほど言われたように破損河床によって、
1:14:24	どうなるのかということになると思います。
1:14:28	で、その際一応今、タンクというので、ソウノ話で言いましたけど、
1:14:36	一つの破損箇所によって漏えいが起きるといのは、
1:14:41	常盤、他のタンクは、
1:14:46	流れ込まないという状態に必ず構造上なってるってということですかね。
1:14:58	はい、弓削西浦でございます。
1:15:01	そこは確認しないといけないですねそれを前提に私は物語わかってました。はい。事実確認しますはい。
1:15:08	はい。補足です。これであれば一つ一つがポンプで、
1:15:15	上げていって、上からの受へ足こむという形のオク系統構成なので
1:15:25	同1ヶ所、破損コウから複数のタンクがなくなりこまないと。
1:15:31	いうことになってるように説明されてる。ここは図になってますけど、全体そういうものなのかどうかということ整理をしてということだと思いますし、そこはそのす、設計の方針としてかいて、だから、
1:15:47	何か実態見てこう、
1:15:50	あり得るのであればあり得るものを、そういう場合はこうカウントしますよという評価報告として、
1:15:58	いうことになると思うんでよろしく願います。特に
1:16:03	うん。
1:16:04	通しページで言うと、
1:16:06	A、
1:16:10	最初の第2活性炭処理供給槽から、第2活性炭処理液槽に流す。
1:16:19	処理れる際には、
1:16:24	受け層の方はカウントしなくていいでしょうけど、
1:16:29	処理等の分はカウントしなきゃいけないってことになりますよね。
1:16:42	はい。宮城イセでございます。はい。ちょっと
1:16:46	そうですね。んとどこできるかなあ。ちょっと構造も含めてもう一度整理をします。
1:16:55	処理等のマスターで、マスターっていうか繋がって会館のどっかで入ったときには、
1:17:01	亀裂が入ってる応援したときには、
1:17:04	グラビティーで落ちてくるもので、どこからどこまでですかというと、計装供給槽側から流れている、全体の
1:17:13	第一課センター処理受け槽の入口の弁ですねここまでの間が丸々落ちてくると。

1:17:21	いうことを考えるということが
1:17:24	一般的にはそうなのかなという気はしますちょっとその辺も位置関係含めて整理をします。
1:17:31	はい。入口じゃなくて私は出口だと思ってるんですけど。
1:17:38	それも、
1:17:41	運転状態をどうするのかによって、それが担保できるならその範囲でも構いませんけど、どういう範囲、それを担保するのは何かというのを、
1:17:51	一つ一つ潰し込むようにしてください。そのパターンがどれだけあるのかによって差分の説明が必要になってくる。
1:17:58	ということなのでよろしくお願いします。
1:18:04	はい。与儀ニシダでございますはい。整理します。
1:18:10	コサクです。もう一つ、通し 21 ページ。
1:18:15	今の設定の仕方、先ほど余裕シロの話もありましたけど、
1:18:21	これ 10%と 20%でいろいろ書いてありますけど、
1:18:25	結局のところワー余裕を持って設定しているタンクの容量でやれば保守的評価になりますよ、実際にはそこまで入れませんのでっていうこと。
1:18:37	はい。
1:18:38	なんですね。はい。
1:18:41	それって本当かっていうのは、どう担保とるんですか。
1:18:49	下に捨てますからはちょっと設工認として心もとないんですよ。
1:18:53	うん。
1:18:55	それで言うと、また資料 3 に戻ると思うんですけど。
1:18:59	そもそもこのシステムの市場っちゅうこういうふうにしたいから、
1:19:05	この余裕を持って、
1:19:08	このようにしますよって、そもそも貸してるんじゃないでしょうか。
1:19:13	はい、日本イシダでございます。はい。そうですね。
1:19:16	ここも
1:19:19	説明グループの関係で、テレコンだということが苦しいですけど少なくともこの中で、こういう説明をする以上はその根拠になるところの系统设计を説明しないといけないので、
1:19:31	やろうか。
1:19:34	日比にいる。
1:19:35	横野中出。
1:19:37	その前提の設計を語って、具体は説明グループさんの松沢さんであります。
1:19:46	はい。
1:19:47	考え。

1:19:49	はい、与儀西田でございますちょっと市場ってどういう管理をするのかっていう、運転管理上と、設計上、どう整理の管理するつもりなのかっていうのも含めて、
1:20:01	書いた上で、だからこの1バッチの処理量を規定にして、それに対しての余裕指導を見ながら、考えればいいんだという流れができるようにちょっと整理をします。
1:20:15	はい。
1:20:21	結局何の数字でやるのっていう古藤のときに、1バッチってあんま関係なくなるとかと思ってたんですけど、
1:20:29	関係あるんですか。
1:20:36	宮城西田でございます結局、そうですね交渉でやればいいということの根拠に使ってる。やはり一つの因子が一波1バッチなので、
1:20:46	もともとここにタンクってどういう管理をしますかっていうところがあれば、1番地云々っていうのも、タンクのその何でしょう、液の入れ方の管理、管理方法設計上の担保要件だったり、
1:20:57	ていうところで整理できればいいのかなと思います。はい。
1:21:03	はい。
1:21:07	よく、どれで設定するつもりなどによって説明の、
1:21:11	範囲が決まるし、その具体を示す範囲も決まってくるので、
1:21:17	コウ措置っていうのを基本にするということであれば、
1:21:22	一番近くもですね公称値。
1:21:27	の設定根拠になる。
1:21:30	だけっていうことに、
1:21:31	なると思うんですね。
1:21:33	で、1、この20%単純なる余裕というわけじゃなくて、
1:21:41	配管とかでのものに相殺をしているっていうことだとすると、
1:21:46	これは本当にそれでいいのかっていうところもあるんですけど、そこはどう。
1:21:52	なるんでしょう。
1:22:13	表現ニシウラでございます。そうですね。
1:22:18	実際、こん限り、
1:22:22	老齡リターンクノババ横野湖処理カワセ。
1:22:27	その方向性を使うということで、
1:22:31	本来は系統の構図系統図が載っているので、
1:22:42	対象になる範囲を特定して、その範囲の容量を出すということ。

1:22:48	かつ、その容量がこの公称値との関係でどういう関係になるのかっていうのを、流れて説明していくのが、一番いいのかもしれませんがちょっとまだそういう、やはり聞いてないのが現状だと思って。
1:23:05	ざくです。
1:23:10	等であれば、容量を全部足し合わせるっていうのが一番保守的、
1:23:15	先ほどの漏えい。
1:23:18	が考えられる範囲の容量を全部足すと、
1:23:22	いうのが適切、適切か設工認として保守的に示された本文事項で設定できると。
1:23:31	という意味で
1:23:34	説明性が高いかなと思うんですけど、ちょっと保守的すぎるので、実態に合わせたいということだとすれば、それをどう、
1:23:43	実態を担保するんだということの説明が必要と。
1:23:47	ということだと思います。
1:23:52	現状のやり方だと、そこがあまり。
1:23:55	何も曖昧なので、確認してあるからいいでしょっていうのは、設工認としてはないので、
1:24:02	その確認方法なりを宣言してもらわなきゃいけないと。
1:24:06	ということだし、
1:24:08	その意味だと今の配管分が、
1:24:13	融資の分、
1:24:14	Aを食いつぶしていないと。
1:24:17	いうことをどう評価しているのかという評価方法をここで説明する必要があると出てくる。
1:24:23	ということなので、
1:24:25	改めて整理をして
1:24:28	また確認させてもらえればなと思ってます。
1:24:31	その点、
1:24:33	そうだな。
1:24:36	江藤現状だと、
1:24:39	丹タンクの容量、公称値っていうことでやっているんで、そうすると、
1:24:48	この
1:24:50	パンクのその構造としてどこに、
1:24:53	残留液量。
1:24:55	が出てくるのかとっていう構造、具体的に示す必要がないからこういうポンチ絵になってるってことなんですかね。

1:25:06	はい。宮城イシダでございます。今はちょっと残留ウエキによって谷書いてるので、これがなぜこの残留液量っていう、
1:25:17	ものが、
1:25:18	必要なの出てくるのかっていうところが、全く書けてない。それはまさしく構造との関係で、そういうことになるということなんですけど。
1:25:27	そこの説明もしっかりとしないといけないと思ってます。実際配管自体は、アノをしたときなんですけど、結局はポンプのから運転の関係でその前に、ポンプ自体を止めるので、
1:25:40	その分の残量が残るといのが、実際の状態なんですけどそういったことも含めて説明をちゃんとした上で、この残留営業って一体何もんですかと。
1:25:51	なぜ、それが 10%だといえるのかと。
1:26:04	うん。
1:26:05	コサクです。ちょっと音声途切れちゃいましたけど、
1:26:13	本庁が聞こえます。
1:26:16	こちらはイシハラさんの声が聞こえなくなりましたので同じ状況です。
1:26:21	1052 ホデイシダでございます。もう最初から聞こえなかったですね。10%がなぜっていうところから聞こえない。日本ニシウラでございます。実際構造的には、音波タンクの下側に配管がついていて、
1:26:38	ポンプが、空気を持ち込んでから運転にならないよっていう意味で、もともとポンプを止めるタイミングが、この残留A上 10%に値するところで止めに行くというようなことで設定をしているというようなこともですねちゃんと
1:26:52	書いて解説をしないと、何でこれが出てきたかわからないのでそういうこともしっかり書こうと思ってました。
1:27:02	コサクです。今の説明からする等、
1:27:06	10%、
1:27:08	等から実際のノズル位置までまだ少し、
1:27:12	残りがあるようなので、
1:27:15	そうする等、
1:27:16	現役としてはその差分分もやっぱり見込まなきゃいけないっていうことに、
1:27:24	なるんだと思うんですけど。
1:27:26	一方で 1 バッチの量で設定するのではなくて、タンクの公称値でやるということからすると、ぜ。
1:27:36	絶対に出ないはずの、
1:27:40	4%というところの実際の残留ウエキ、

1:27:45	実際のっていうか、あとシミズってよく言う部分。
1:27:49	はい。についても評価では見込んであるっていうこと。
1:27:53	いいですかね。はい。2 オギイシダでございますそういうことです。
1:27:58	はい。昨日、そ、そういったところを、
1:28:03	踏まえつつ何を説明しなきゃいけないのかということがもう少し端的にわかるようにしていただく。
1:28:12	はい。与儀ニシダでございます承知いたします。
1:28:18	コサクです。以上です。
1:28:20	はい、規制庁ごめんなさい。もう1点も申し訳ない。
1:28:24	衛藤。
1:28:25	21、22 ページですね。
1:28:30	これ何でこのページあるんでしょうか。
1:28:44	代表の交渉きつとこれ最後でもいいんじゃない。
1:28:48	その通り、
1:28:51	40 ページと何も変わらないんだよ。
1:28:53	はい。
1:28:54	はい。それがいいんです。
1:29:02	結果見せられてもですね。
1:29:04	ここまでは代表でよくて、代表もですね各貯層のとかと要らなくて、方法さえ明確になってれば後積み上げは、
1:29:15	はい。
1:29:16	最後でいいので、
1:29:18	はい。はい。よろしくお願いします。
1:29:20	はい。
1:29:27	コサクです以上です。
1:29:30	はい。
1:29:30	市長あれですけど、ほか。
1:29:33	液体の閉じ込め関係で、コメント等ございますでしょうか。
1:29:42	はい。そうしましたら、続いて、あ、ごめんなさい、古作です。大変申し訳ない。あと、あと1点だけ。
1:29:49	最初に評価対象のところで代表性ということがあり、代表の説明をするにあたってワー母集団1セキ示してっていう形に、
1:30:01	なってると思うんですけど、一方で結果のところは代表のみになっちゃってて、電話2年6月のペーパーでワー方法は代表だけどう、結果は一式っていう話を、
1:30:14	添付書類ではあるんですけど、していて、
1:30:19	前回か前々回か

1:30:22	全部つけなくていいよと私が言ったところではあるんですけど、
1:30:29	今回 2-2 であって 3-2 じゃないっていうのもあるんですけど、結果ってどうしますか。
1:30:44	はい。与儀イシダでございますはい。やりとり上手いって消しをしながらも、個人的にはこのこれが添付書類に
1:30:53	行くことを考えると、
1:30:56	全部というか、別添なのか、何か他のものって結局こうなってますみたいなことを、
1:31:05	家、今は個別補足に全部言ってますが、つけた方がいいのかなとも思っていました。はい。それが代表で考え方も含めてセキ評価の方法論。
1:31:16	サトウ具体の結果を示しつつ他は、実際こうですと、ということにも、
1:31:21	のペーパーにも繋がるのかなと思ってますが現状は個別をそこに丸々
1:31:26	もともと添付としてついてたものが、行ってる感じになってます。
1:31:34	はい、加来です。同じような中、さっきの代表選定のところと同じような表にするのか、今言ったように別添的に、
1:31:44	作るのか、
1:31:47	あと差分の説明っていう部分もあるので、その点も含め、どう示すのが一番見やすいかということでもとめていただければと思います。以上です。
1:32:00	はい。イノウエの石田でございますはい。代表者分も含めた説明の流れというのも考える時に合わせて、他の代表以外のものをどうするかということも、あわせて整理をします。
1:32:15	はい。
1:32:16	他、規制庁側から、よろしければ、
1:32:21	続いて、右下じゃなくて、PDFの 41 ページ目からのところの確認をしていきたいと思います。
1:32:30	換気風量の話で、
1:32:32	先ほどと同じように 42 ページ目の内容っていうのは、少しブレイクして、
1:32:39	今回で言うと、
1:32:42	何ページ目なんだろう。
1:32:46	はい。6、59 ページですかね。59 ページ目のところと同じような形で直し、マージしていただけると、整合とれるかなと思います。
1:33:02	それで、
1:33:04	あとは、少しこれ概要がなあ街というところもあってですね。
1:33:12	概要が、

1:33:14	何ページにも終わってるっていう場合には、少し目次みたいなのをつけていただいた方がいいなと思ってて、
1:33:23	例えば 45 ページ目で、
1:33:30	風量因子のAからFについては、目次がついているものの、
1:33:37	例えばF以降に示しているものとかっていうのが、少しぶつ切りになって唐突感が出てきてしまうというところもあるので、
1:33:45	これと同じような形で目次をまとめていただきたいんですけどいかがですか。
1:33:53	はい、宮でございます。はい。承知いたしましたまず一つ全体の数量のお話をですね、44 ページ、44 ページじゃないな、45 ページ他、
1:34:06	入れたところが非常に後ろの本丸で出てくる 55 ページ、関係が非常にわかりづらくなってしまったのでちょっと
1:34:20	項目の書き方も含めて、あとナカ病死うまく使うかどうか、メディアの目次も含めてですね、整理をします。はい。
1:34:29	お願いします。
1:34:31	もう 1 点が 44 ページ目ですかねPDFの。
1:34:36	44 ページ目で、喚起対象の話が表でまとめられていて、
1:34:43	対象とする箱ですよねグローボックスであったりオープンポートボックスであったり、
1:34:49	と' 建屋っていうのが書いてあるんですけど、
1:34:53	評価対象のところこの辺の考え方とかっていうのがちゃんとして示せないのかなって思ってるんですけどいかがですかね。
1:35:06	評価対象はあくまで、はい。排気設備だけでも、そう。はい。
1:35:11	右上で試算でございます。2.1 ですね、2.1 の評価対象のところ今、
1:35:18	そうですねここで結局は、ツナカワ季節に繋がってる対象として、風量の評価に、の対象にするものは何かっていうところを、おっしゃっていただいている 44 ページの表をこちらに移して、全体カバーしていくということで整理をします。はい。
1:35:36	あともう 1 点は先ほど漏えい期と同じで、代表の話をどこで、最初に言及して、考え方を示すかっていうのが、
1:35:46	あんまり読み取れなくてですね、具体的に容積の計算をするときには出てくるんですけど、
1:35:54	例えば
1:35:56	50、
1:35:57	9 ページ目以降のフローの中で、
1:36:01	評価対象のところ、そこは言及して、
1:36:05	具体的に、

1:36:07	2.2. 1 ポツのbポツのところで、代表の整理をするっていう形になるんですかね。
1:36:15	はい。与儀ニシダでございますはい。そうですね。今おっしゃっていただいたように代表自体をどう選んでるか代表というかこれ
1:36:25	一番大きなグローブボックスで全体カバーしますって言うてる呉話を、
1:36:31	評価対象として先ほど全体のグローボックスでと、かつ、不安風速の話をしてしようと思うと、
1:36:39	一番大きいグローブボックスで、全体を、
1:36:44	同じような要望セキだとして仮定して、それぞれ評価をしていきますという、全体の大枠の考え方が 2.1 にありつつ、その考え方をもとに、2.2. 1 の(1)のbポツで実際の容積の話をする。
1:37:00	ということかと思しますのでその辺の流れもサノこの中で、59 ページ 1 のフローの中に、
1:37:06	繋がりがわかるように、整理をします。はい。お願いします。
1:37:10	もう 1 点が 57 ページですね新しく追加いただいたはずなのかなと思って、
1:37:17	ここも説明する内容というのは、おそらく喚起対象の話だと思うんですね。
1:37:23	なので、ここも喚起対象のところとガッチャンコして、
1:37:29	説明するのが一番適切かなと思うのと、あとは分け方ですよ、どういう考え方でこのような、
1:37:38	破線で囲った、
1:37:41	グルーピングをしたのかっていうところがわかるような形で示していただきたいと思うんですけど、いかがですかね。おそらく、
1:37:50	廃棄時ユキがあるところを、グルーピングしてるっていうことなのかなと思うんですけど。
1:37:57	いかがでしょうか。
1:37:58	はい、日本ニシダでございます。はい。おっしゃっていただいている通りで、ちょっとそうですね 57 ページの場所が、
1:38:06	浮いてるかも知るので、先ほど評価対象の
1:38:12	ここに入れて繋がる繋がるか見えない。
1:38:15	かつ換気等の関係でのグローボックスの切り方っていうのは、こういう切り方になりますよと。
1:38:23	いうこと、おっしゃったところがなければ、当然ながらその間が全部一つのグルーピングで換気の吸気と排気シャッターで区切られたところがその範囲で換気過給機があり吸気と排気があるように、
1:38:35	換気設備を系統構成しますということ。

1:38:39	の前提が、システム設計としての前提があるということで、評価対象の中の説明の仕方につなげるということで整理させていただきます。
1:38:50	はい。
1:38:51	よろしくお願いします。
1:38:54	とりあえず、
1:38:56	構成で気づいた点は以上です。
1:39:00	コサクです。今のはなCっていうと、先ほどの漏えい器と一緒にですけど、
1:39:06	評価対象の話のときに、まず資料3との繋がりがっていうのを説明いただくということだったと思うので、まさにこのグローブボックスの系統構成どう考えるんだってどこおっしゃったオクんだ。
1:39:19	それによって吸気排気をどこに設置するのがいいのかと。
1:39:24	ということになるんだと思いますから、
1:39:28	同じ流れで、わかるようにしていただくということかと理解しました。
1:39:36	その上で代表性も同じでして、
1:39:42	先ほどの、
1:39:45	P01で言うと45ページにあるABCDFと、
1:39:50	いうものの関係っていうのを、
1:39:54	その以降何ページかにわたって書いてますけど、グローブボックスではどれが対象になってとかですね、これ肯定したところとどかつての文章でいっぱい書いてあるんですけど、
1:40:07	グローブボックス工程室建屋等それぞれ評価しますよね。
1:40:13	はい。
1:40:16	そうですねそうすると一それぞれに代表選定しています。
1:40:22	全体の表の方で業績を全体見てるものは代表ルートよりも、全体の系統の繋がりで見たりしているので、全部に代表決めてるわけではないですね。
1:40:36	藤。
1:40:37	それ。
1:40:38	それであればなおのことなんですけど、はい。
1:40:42	グローブボックス工程室建屋とありまして、
1:40:45	それぞれがABCDFと、
1:40:49	しているのか。
1:40:52	どれを
1:40:54	中心に説明する等、合理的なのか。
1:40:58	多分は何か、
1:41:00	いうのをわかるように、まず、
1:41:03	一覧表を作ってもらえますかね。

1:41:05	一戸西本ございますはい。承知いたしました。
1:41:09	補足ですんで、その上で、その内数としての代表なのかもう一色も代表で表を作ってしまうのかは、物量によってわかんないんですけど、同じように、
1:41:20	代表選定の整理をしてください。
1:41:26	はい、承知いたしました。
1:41:29	はい。コサク率で、46 ページに
1:41:35	複数のグローボックスがありましてと。で、ここのグローボックスで、どの因子が支配的かっていうことを考えながら、
1:41:47	その最大のものでカウントをとっていきますよと。
1:41:51	ということなんですけど、その際これ
1:41:55	先ほどの話で、代表というよりはみたいな話されてましたけど、
1:42:04	1 セキ、アノス結局使う値としては最大のものだけでも、
1:42:09	各因子について必ず評価をしてやるので、それ以外のグローボックスの評価方法もう説明した形になりますよと。
1:42:20	いうことでいいですかね。
1:42:22	はい。宮城ニシダでございますまずそうですねおっしゃっていただいとですね換気回数 46 ページで換気回数より風量設定といったときには風量設定の考え方ってのは全部共通で、
1:42:35	それに対して、具体としてこれ説明グループさんに多分なかつこ評価ということだと思んですけど、その中で、
1:42:45	代表云々って言えば皆同じやり方でやって、この最大がどれかというのを最終的に見ていくと、
1:42:52	9-1A2B3C4 ミイですかね、関係する者の意思で一番サイドを見ていくということです。
1:43:00	若干その代表云々という話で
1:43:04	説明を多分今ややこしくしてもらってるのが、9-3 の紙にですねいわゆる後で出てくるとすると、
1:43:15	大きいかな。
1:43:17	F、Cの閉じ込めの負圧か。
1:43:21	これ 301 個あるグローボックスの
1:43:25	結局は容積との関係でリーク量を見ながら、それ以上の数量なんですけど、301 個分、いろんなパターンが数字がバラバラで引いてるんで、一番大きい 106 立米とかっていう、
1:43:38	グローボックス一律 301 掛けるということでやりますよみたいなことやり方をしてるので、その考え方も含めて、この頭の方でちゃんと説明をしていくと。

1:43:49	ということかと思いました。はい。
1:43:54	はい。
1:43:58	今の話をすると個別の説明をし、しないと、代表の説明できないみたいな、ちょっと
1:44:06	今の代表最初に説明しましょうといった流れだと厳しいところはあるんですけど、
1:44:13	何らか、
1:44:14	は書いていただいて具体は何ページ見てくださいということにしてもらったらいいかと思います。
1:44:23	はい。乳井ニシダでございます。いたしました。
1:44:34	うーん。
1:44:39	通し 61 ページで、その 2 ポツ 1 がもっと膨らんでいった表まで話してってということになって、
1:44:46	2 の 2 が一文章で 1 個ちよろちよろ書かれるんですけど、これ誰でこういう文章になる。
1:44:57	いいすかね。
1:45:08	質問が変ですかね。61 ページ 2 ポツ 2 ポツ 1 を、なりますけどそのの、
1:45:18	学期なんですか。いや、
1:45:21	前書きなんですけど前書きにしてはヤタてるかもあってちょっとリルなり移動参らないなら、多分いらぬいんですね。もうなんか完全にかぶっちゃってるんで、ちょっと整理します。はい。
1:45:35	はい。補足ですビート分ならリード文なりに、
1:45:39	その以降の 2 ポツ 2 ポツ 123 という構成がわかるように書かれないとなったって感じがするので、
1:45:48	整理をしていただきたいと。
1:45:54	結局は 2 ポツ 1 で代表の説明があったところとの関係で、どこで何を具体説明するのかっていうことがわかっていかなきゃいけないのでそれがちょっと見にくいなど。
1:46:07	んところ、
1:46:10	いいえ。
1:46:21	はい鳥井以上です。
1:46:25	はい。支店長ありがとうございます。
1:46:27	他は、換気関係で確認等ございますでしょうか。
1:46:41	補足です。すいませんちょっといきながら、先ほどの漏えい率、その資料の構成のはなC。
1:46:50	等類似なんですけど、
1:46:52	これグローブボックス工程室建屋とあってですね。

1:46:58	2-2-1 の中でもそれ三つ並んでますけど、代表でってなると、
1:47:05	代表差分ってなると並ばなくなっちゃうような、
1:47:09	込んでさっきのお話はあったんですけど、
1:47:13	これで見ると本当にそれでできるみたいな感じがありますけど、いかが です。
1:47:29	そうですね。これでさっきの佐口の値上げとか下げたらもう訳わかんない ですね。
1:47:36	延滞まとめて流れで説明していかないとちょっと説明が、
1:47:43	売り取りだともう壊滅的になりそうなので、ちょっとそれも含めて流れで、 代表の話をしてるのか、差分としてどういう差分の話をしているのかって いうのを、中に入れ込みながら説明すれば3で、
1:47:58	先ほどのやつも含めて1回考えてみたいと思いますはい。
1:48:04	はい。コサクです。できなくはないと思うんですけど。
1:48:08	説明が、
1:48:10	補足で入れる説明書きをどうかけるかっていうことによるんだと思いま すが
1:48:15	今、考え直していただいた方向の方が添付書類の構成とかとは合うん で、
1:48:24	1回それでやってみて、
1:48:27	もう一方の案を少しイメージしておくというふうにさせていただいたらいい かと思います。以上です。
1:48:37	はい、承知いたしました。
1:48:39	はい。
1:48:41	他規制庁側から、
1:48:44	すいません。はい。カミデですけど、
1:48:48	ちょっと気になっただけなんすけど、46 ページで、
1:48:53	一般法令で建築基準法施行令が読まれてるんですけど、これがどんな 要求がかかってても、その設計に対して行動。
1:49:05	踏まえているのかみたいな説明とか、
1:49:15	はい、弓削西田でございます。実際はこれ50年で53ページですかね。
1:49:23	人が、
1:49:26	滞在するとか占有する場所での
1:49:32	二酸化炭素とかの量を変えて、人が居住する空間でどういった風量を 設けなきゃいけないかっていうのが、これが建築基準法施行令第20条 の2。
1:49:45	第1項第1号炉ですかね、に基づきっていうところがまた対象になって るところです。

1:49:55	はい。規制庁カミデです。
1:49:58	それだとどうい、どういう場所にどうい要求がかかっててみたいなどころまで説明いただけます。
1:50:15	逃げネシアでございます現状、現状ROV中央監視室、
1:50:20	良寛室と現場幹事とか第一営業室とか、はい。
1:50:24	営業室関係で人が、
1:50:28	通常いそうな場所を対象に、
1:50:32	考えているというのが現状の考え方です。
1:50:37	藤規制庁カミデ数 52 ページだとそうですねアノろう。
1:50:41	ろを呼んでますけど、
1:50:45	46 ページだと、
1:50:47	20 条の 8 の、
1:50:50	第 1 項第 1 号イの要求をってなっていて、何かまた条項がずれてるような感じですけど。
1:50:57	それでいいんですか。
1:51:10	町長。
1:51:13	で規制庁カミデなんですけど、何かもうちょっとちゃんと説明した方がいいなと思っていて、
1:51:19	46 ページの第 1 項第 1 号イだと、教室特性がまず分かれていて、教室以外なんだと思うんですけど工程室みたいなのは、それとも、
1:51:31	1 時間に 0.3 回ぐらいの要求しかかかっていないところを、多分、工程室だと 1 時間に 1 回か 2 回で結構な頻度で、
1:51:42	まず関係するようにして、まずそれがトリガーとなってさらにだんだん負圧に、
1:51:49	していくっていうチェックボックスで、もう 1 時間に 6 回ぐらい日関係するぐらい、なってるってことだと思うんですけど、その辺りの、
1:51:59	設定の考え方っていう辺りをちゃんとしておいた方がいいんじゃないかなと思いました。はい。稲毛吉田でございます。はい。ありがとうございます。46 ページでいうと 20 条の 8 ですね。はい。これの要求との関係。
1:52:16	整理をしてはい。どういう設定をしたのかということ、示せるようにしておきますはい。
1:52:23	はい。藤上さんそれを何かちゃんと聞きたいなと思ってるわけでもないんですけど何か一般法令で清建築基準法って出ちゃうと、うんちゃんとした方がいいのかなっていうぐらいなので。はい。はい。はい。
1:52:38	そうですね柳下でございます。一番最低ラインは 46 ページや 47 棟 1047 ページ、右下 46 ページを、※2 ですね。

1:52:48	廊下等のところが多分 1 時間に 1 回、これもだから、かなり格上げしちゃってるので、これをベースに、
1:52:58	上のポツ三つがどんだんどんどん繰り上がってるイメージではありませんはい。ちょっと停滞整理します。
1:53:04	はい。規制庁、五味です。何かどういう関係法令を出すのかっていうところな気もするんですけど整理いただければと思います以上です。
1:53:18	はい。規制庁荒井です。
1:53:20	よろしければ、もう時間も規制庁ハバサキですすいません今のちょっと関連してなんですけれども、
1:53:27	基準施行令でそれを満足するような設計ということはこれ、青森県の方、建築確認のですね、これMOX例えばもう骨折と提出してると思うんですけども、
1:53:41	れ条例に対しても、申請を提出して許可といいますか、県の方から一応認可されてるということでもいいんでしょうか。
1:54:00	はい。ヤギニシダでございますアノ陰カクウでの申請だったり認可をいただいてやってるのはわかってるんですけど、ここについてどうをやりとりしてたかどう書いてたかってところはちょっと私も今記憶にないので、
1:54:14	そういったところのリリース確認もしておきますはい。
1:54:17	はい。規制庁浜崎ですあと計画に関してはこれMOXアート、提出されてるっていうのを知ってるんですけどあれ、再処理施設の建物構築物って全部出している。
1:54:29	という理解でいいんですよね。
1:54:34	はい。出してると思ってますはい。
1:54:38	はい。
1:54:41	出しているということで、はい。はい。
1:54:44	はい。以上です。
1:54:49	はい、他規制庁側からよろしいでしょうか。
1:54:56	時間始まってから 2 時間ほど経ちますので、10 分ほど休憩したいと思いますけど。
1:55:03	現にそれでもよろしいでしょうか。
1:55:06	はい。大丈夫です。
1:55:08	はい。そしたら、
1:55:11	15 時 40 分ぐらいから始めたいと思いますので、はい。また再開まで、再開はよろしく願います。
1:55:18	音声 1 回、
0:00:00	6 アカイシました。
0:00:02	はい。

0:00:03	それでは数十分前からの続きとしまして、
0:00:07	最後の搬送設備のところの確認を進めていければと思っております。
0:00:16	資料でいうと、
0:00:21	70、80 ページですかね、PDFで 80 ページからとなっております。
0:00:27	冒頭説明がありました通り、資料 3 の構成から少し見直したところもあるんですけど、
0:00:37	例えば 81 ページの内容っていうのは、どういう形で整理しようと考えてますか今までの議論聞いて、
0:00:53	はい、宮城西田でございます。81 ページの内容で、
0:00:59	資料 3 であったり、資料 4 で
0:01:08	ちょっと音声途切れてしまったんですけども、
0:01:19	六ヶ所ナカハマですちょっと東京側、確認させていただきます申し訳ありません。はい。
0:01:24	姫路の方で整理できればと思ってました。
0:01:28	石原さんすいません規制庁新居ですけど、ちょうど音声途切れて、すいません。これはうちのシステム。
0:01:37	はい。すいません。大丈夫ですかね。はい。お願いします。はい。81 ページの内容先ほどあった、資料 4 のフローというよりは資料 3 にも関係する部分があるので、
0:01:50	それぞれのパートでちょっと今、設計書いてる吹き出しみたいだと誤解がないように医療界的出して書くなり、もしくは資料 4 の中で、
0:02:01	今説明して 96 ページのフローとかですねそういうところで説明が追加できるのであればその中に拡充したいということで整理をしています。そういったものに当てはまらないものは説明の時に口頭で、
0:02:15	補足する形で整理できればと思いました。はい。
0:02:19	わかりました。それで 82 ページから資料 3 というところで、資料 4 のフィードバックを受けて直したところっていうところで、
0:02:27	まとめられているんですけど、
0:02:30	実際に、
0:02:32	共通 12 として横に積む場合って、資料 3 も合わせて積むことなるんですよね。
0:02:39	はい。与儀ニシダでございます。あわせて積みますのははい。そちらを見るっていう手もありますはい。はい。
0:02:45	なので、今回、
0:02:48	最初の、
0:02:49	大枠として 1 ポツ地盤にポツ、

0:02:53	設備構造っていうところで、その括弧、評価パターンの括弧 2 か、(2) の説明として、いきなり、
0:03:03	資料 3 の話が出てくるっていうのも、リード文の中では読めてるんですけど。そもそも。
0:03:11	はい、大宮でございます。えっとですね。
0:03:15	作るとそういう意味では、
0:03:20	シノ 10 ページの
0:03:27	9 ページ 10 ページの評価パターン(2)の搬送設備の必要容量のところで、評価の前提として相鉄の対象の整理、構造設計との
0:03:38	関係整理といったところに、
0:03:41	資料 3 の関係も、今回修正をしてますよというわかるキーワードを入れ込んで、前の 4 ページですかね、に入れ込むって形にしたいと思います。はい。
0:03:52	それでもう一つ確認が、先ほどの評価パターン 1 の、
0:03:57	漏えいとアノ関係の中で、
0:04:00	最初の評価対象の選定の中で、資料 3 との紐づけっていう話があったと思うんですけども、
0:04:07	あちらとの構成の違いって、どのように説明っていうか
0:04:12	理解すればいいですかね。今回の搬送設備の中で、
0:04:18	はい、与儀西田でございます。97 ページでまず、フローの書き方がちょっと全体を合わせて統一的にします。この 2 ポツが、
0:04:30	評価対象の選定というか、になると思いますので、タイトル合わせた上でこれが正しく資料 2 の資料 3 の中で、
0:04:40	16 条の要求になっている搬送設備とは何かという対象のシステム設計なりの整理をしているところとのリンケージを図るということだと思います ミズタ 97 ページでいくと具体としてと書いてある、2 段落目ですかね。
0:04:56	ここももうちょっと資料 3 で何を語っていてそれとの関係で、評価対象こうなりますよという中で、整理ができればと思います。はい。
0:05:06	そういう意味だと、規制庁アライですけど、
0:05:11	P82 ページから書いてある内容っていうのは下の方に来るってことなるんですかね、要素が。
0:05:21	はい。日本原燃石田でございます。はい。
0:05:30	をですね、首藤さんとの関係でいくと、資料 3 に出てくるこのいわゆる今の七、八十、4 ページですかね、各年度別の形態だったり、
0:05:43	輸送設備としての設備分類だったりこういうものを組み合わせて対象物を選んでいきますということで、これがそうですね先ほど言っていた。
0:05:56	97 ページ。

0:05:58	の中で、同じように物語にしていくと。
0:06:01	ということで繋がりが見えるかな、
0:06:04	なんか。
0:06:05	そうです。
0:06:06	これ入れる。
0:06:07	ちょっと考えますが。はい。そういう形にも整理しようと思ってました。はい。
0:06:13	わかりました。
0:06:15	97 ページの 2 ポツの対象設備っていうところで、少し上の部分を突き出していくという形で理解しましたので、
0:06:24	はい。他の項目ともそれで合う。
0:06:27	いうところまでは把握しました。
0:06:31	はい。規制庁新居ですけど、構成で他、規制庁側から確認と。
0:06:36	ありますでしょうか。
0:06:39	はい。規制庁岡です。
0:06:42	今の話もちょうと関連はするんですが、84 ページ目通しの
0:06:53	まずここで、
0:06:55	うん。
0:06:58	資料 3 として、今回のエントリーする対象。
0:07:03	はい搬送設備としての丹治対象がこれですっていうふうに、
0:07:07	説明して、次のページで、
0:07:12	その奉仕設備を類型化しますというところを資料 3 の方にまずは、
0:07:19	組み込んだと、そういうことですよね。
0:07:22	はい。二本木ニシダでございますはい。おっしゃっていただいている通りです。はい。成長して、この後から、
0:07:30	83、85 ページ目で整理した累計の、
0:07:34	説明が、
0:07:36	使われてないというかですね、例えば、今回付けていただいている 88 ページ目以降が、どれに分類する説明になってるのかって言うところの繋がりが、
0:07:50	今のところ見えてきてなくて、
0:07:53	補足なんかで、もう 1 機プロセスあるってのは理解してるんですが、
0:07:57	おそらくこれをこの資料だけで確認していくとそういうところは、
0:08:02	繋がりが悪いっていうところがあると思うので、
0:08:05	そこって何か手当できませんか。
0:08:09	はい、日本の会社でございますはい。おっしゃっていただいていることは理解しました搬送 02 で、確かこの先ほどの類型と

0:08:21	構造を説明する落下物等の説明をするものっていうのを紐づけて、整理をしたという記憶もあるので、それとの関係をもうちよつとこの、この80、
0:08:35	8ページ以降ですね、頭の中に盛り込んで、ちょっとリンケージが図れるようにしたいと思いますと今先ほどあった第三課がですねこの資料3の本体側での修正になりますので
0:08:48	パワーポイントの審査会合資料からは外した上で、こちら側でちゃんと拡充したものにしていくと、別添がですね、そういうことで整理したいと思いますはい。
0:08:58	室長倉島別邸側に持っていくということで。はい、理解しました。とはいえ、資料3にもフィードバックしてますっていうようなぽつとエッセンスは、
0:09:09	共通の方の、今までの、
0:09:12	プロセスの方で、数字、元のリード文等で、はい。はい。はい。
0:09:20	写真4の方で、
0:09:24	と96ページ目の、
0:09:29	2ポツとサンポ通なんですけどここやっぱり、先ほどの
0:09:35	こっちで何か補足で何かこの話じゃないんですが、ちょっと補足に飛ばし過ぎている印象があつてですね。
0:09:44	2ポツと3ポツで、2ポツに関しては、基本的には資料3との繋がりにあつて先ほどの説明の、2ポツの方でされるということで、
0:09:55	サンポⅡの方は、もうこれ、今回98ページ目にまとめられてる。
0:10:02	このすべてに共通順位としてはすべてになるんです。
0:10:15	はい、乳井西田でございますこれも
0:10:20	代表として示すもの何するかって今、3ポツでいきなり語ってますけど、2ポツの中で、この容量評価について何を対象に示していくかと。
0:10:31	ということで、先ほど引っかけで示してたものを、
0:10:37	あれ、聞こえてますかね。
0:10:39	はい、規制庁ありがとうございます輪アノ2ポツの中に盛り込んでということで後、五つの分類の種類との関係を、
0:10:47	から代表云々をどうするかというところを、2ポツの中で書き切った上で結果、3ポツで示すものはこれが全部ですと、それ以外のものは、個別補足で展開をしますということ。
0:11:01	個別のところ为先ほどの話でいくと、別添なり何なりで、示す全体を示すかどうか、ちょっと整理がするということを、括弧評価パターン、括弧1のときにご説明しましたんで、

0:11:12	こちらと同じように、この中で代表以外のものも示していくとなれば、全体像が見えるようになるかなと思ってました。
0:11:20	はい、規制庁から。わかりました。搬送に関しては特に今回厳しいものを代表としてここに挙げているっていう点もあってですねやはり、
0:11:30	全体像という話が先ほどからありましたが、少し不足してますので、そういうところをしっかりと書き書かないとなかなかたどり着かないと思いますので、
0:11:41	よろしくお願いします。
0:11:42	で、98 ページ目の最後の表なんですけど、
0:11:46	最大荷重と定格荷重の比をコウ、適正化がされたものの、
0:11:52	この桁数だと、例えば、
0:11:55	当間切り上げると 100 になってしまうケースっていうのが結構あってですね結果処理のポリシーを今書いてないんだと思うんですが、
0:12:04	そこはもう 1 桁変えてちゃんとコウ値 1 以下をちゃんと担保してますよということとともに、江田処理のポリシーもしっかり明記するとか、
0:12:15	何かそういう工夫は要るかなと思ってますがいかがですか。
0:12:18	はい。宮城ニシウラでございます。はい。
0:12:21	ありがとうございます。はい。もう 1 桁変えて、
0:12:25	救急はないよね。
0:12:27	ちゃんとぐらい、2.99 だったらもう 100 だとか、
0:12:33	はい。ちょっと事実確認をした上ではイケダ処理の考え方も含めて記載をします。はい。
0:12:39	はい、規制庁、古作です。3 桁書けばいいということでも、
0:12:44	なくて、
0:12:45	3 桁目って意味あるんですか。
0:12:51	はい。2 オギイシダでございます
0:12:54	そうですね。
0:12:59	規制庁笠野切り上げポリシーであれば 3 桁目は意味あると思うんですが、違いますか。
0:13:07	ポリシー次第だと思うんだけど、はい。
0:13:10	そもそもの制度として、例えば、(4)のグローブボックス外は、
0:13:17	4 桁書いてあって有効数字 4 桁はあるような気はするけど、はい。はい。
0:13:22	それ自体もよくわかんない。
0:13:25	ね。
0:13:30	そうですね。はい。そうか。

0:13:35	全体のカッチちゃった、整理しないと今、授業なんかあるもそのまま書いてあるところです。
0:13:42	ですよ。中の※1*一番見ると、有効数字は不タケダだと。
0:13:49	言っていてですね。
0:13:52	何だかわかんないですよ。
0:13:54	はい。
0:14:02	はい。そこも含めて整理をします。はい。
0:14:12	あれ、また聞いた。
0:14:14	ACCESS岡安聞こえてます。はい。次お願いします。私から以上です。
0:14:20	はい。
0:14:21	規制庁側でポイントございますでしょうか。
0:14:27	古作です。すいません。
0:14:30	そもそもこれ、この(1)から(5)あって、
0:14:35	計画って何ぞやとか、最大って何ぞやとか、そこら辺って、
0:14:42	あれですか資料3の方で書いてあるんですか。
0:14:45	はい。これがまさしく、先ほど大川さんが言われた個別補足に振りすぎだと言う点だと思うので、定格荷重って一体何ものかっていうのと、定格荷重、最大荷重ですかね、こう決めるときに、
0:15:02	どういうものを運んでいてその一番大きいやつを選んでますとか例えば集合体、
0:15:08	レイクと。
0:15:11	一番、
0:15:12	大きくなるタイプのやつを対象にしていますとかってというような説明を書いているので、そういった部分をちゃんと
0:15:20	資料4がいけないとですね、一体それぞれどうやって決めたのがさっぱりわからなくて結果だけ書いてって言う話になっているのでそこを多分資料4側に拡充していくと。
0:15:31	いうことが必要だと認識を先ほどしましたはい。
0:15:38	藤コサクです。それでもやんなくて、
0:15:49	それ、そのて、
0:15:52	あそこの定格荷重でどう設計しているのかと。
0:15:57	いうことの中で、裕度を見込まなくていいのか。
0:16:03	という話までナイトウ
0:16:05	この数字、特に0.99とかですね、あったときに、
0:16:09	0.991未満であればいいということなのかどうなのかってところの判断はつかないと思うんですけど。
0:16:17	そこは整理できてます。

0:16:29	はい、杉江仁科でございますはい。ちょっとそこはまだうまく整理が書けません。
0:16:35	実際それぞれの流量に対しても上に清木せたりしてるので、それと、最後いらしてる 0.99 とかっていう数字の関係ですね。
0:16:47	そういったことも含めて、何をどう見なきゃいけないのかっていうポイントが、ちょっとふわつとしてるところをちゃんと整理をしないとイケないと思ってるので、あわせて整理をさせていただきたいと思います。
0:17:03	はい。コサクです。
0:17:05	前回からのヒアリングクレー的な話のときにお話したのは、ワイヤーの設定とかは、すごくこの計画荷重に安全、
0:17:16	係数を掛けて、設計するので、そちらで保守性を見込んでいるから、ここは
0:17:26	裕度というものを持たなくても問題ないんだと。
0:17:30	いう話だったと思うん
0:17:32	ですね。
0:17:33	そこら辺の設計コンセプトをしっかりとまとめていただいて、そのコンセプト等に基づくところの評価はこういうふうにやればいい。
0:17:41	ということだと思いますので、それがまさにここでしっかりと説明すべきことだと思いますのでよろしくお願いします。以上です。
0:17:53	はい、二本木西原でございますはい。
0:17:56	前回そうですね前々回ですかね、やりとりをさせていただいて、なかなかメーカーからも思ったような情報が上がってこなくて今こんな状態になってるので、
0:18:07	合わせてまた整理を進めます。はい。
0:18:15	古作です。メーカーから上がってこないっていうのは何て言うんですか。
0:18:20	はい。二本木ニシウラでございます。まだその部分が、欲しい答えが、こういうふうに設定しました。
0:18:30	という結論じみたことしか上がってこないなので、それがなぜかというところ、どこまで深掘りしていけばいいのかっていうのも含めて
0:18:39	ということかと話はしてますまだ、はい。
0:18:43	アノコサクです。上がってこないっていう。
0:18:46	そもそものやり方なんですけど、こういうヒアリングはしないんですか。
0:18:51	日本原燃石田でございます。
0:18:54	私もSI各課では、そういったヒアリング今、逆に言うと、
0:19:01	あれだね。
0:19:02	第1回で常駐していただいて10コウの方とかメーカーの方と、アクセスして実際

0:19:09	それをやってる部隊と、スターの打ち合わせが必要であれば、
0:19:14	打ち合わせをしながらやっているのが実態ではございますはい。
0:19:18	コサクであれば、
0:19:20	上がってこないとおかしいじゃないですか。その場で説明すりゃいいんであって。うん。はい。その場で説明できないので、技術じゃありませんよ。
0:19:37	はい。
0:19:38	それも含めて、はい。私が入ります。はい。はい。
0:19:44	あれ、
0:19:48	そうですね。アイシハラさんがバルってということ言うと、何を説明しなきゃいけないかっていうことをちゃんと原燃が伝えられてないということですか。こともあると思います。ですね。
0:20:01	Vエグチ なるからあまり車を切るところではないですけど、中コウさんもその場で聞いてるんですけどね、同じように、
0:20:10	メーカーさんもですね。はい。ごめんなさい、古作です。今のヒアリングに、
0:20:16	はい。不安あり得るってことですか。いるんですよ。でもこれなので、はい。実際やってる人と私が会話して、何が欲しいかを、
0:20:26	ちゃんと伝えるということをして。はい。
0:20:29	古作です。今 10 行って、佐藤さんいる。
0:20:34	いや、佐藤さんは言いませんね実際、佐藤さんも、そのプロマネではないので、MOX関係のプロマネの人は、
0:20:41	私今東京にいるんで 6ヶ所にはいるかな。
0:20:44	いるはずだよ。
0:20:46	6ヶ所ぐらい座ってますよね。
0:20:49	はい、六ヶ所 5 はい、ありがとうございます。
0:20:53	古作です。
0:20:58	今までのこと聞こえていたんでしょから、
0:21:02	技術者として恥ずかしくないようにしっかりと、
0:21:06	フォローしていただきたいと思うし、
0:21:10	今までのやりとりは、佐藤さんにも聞いていただいて、
0:21:15	しっかりとした対応をお願いします。
0:21:19	次回説明できないようだったら直接説明いただきますので、そのつもりでお願いします。以上です。
0:21:40	はい。他、規制庁側から確認等ございますでしょうか。
0:21:52	はいそしたら
0:21:56	次の項目、行きましょうか。

0:22:01	はい。
0:22:03	次の項目、
0:22:06	ベースを、
0:22:08	大規模セキから、
0:22:11	ちよつとうちも、すいませんがタカトリ1を入れ替えるちよつとだけ待っています。はい。
0:22:18	代表の説明で、そのつもりでいます。
0:22:21	よろしくお願ひ。
0:22:51	はい、大丈夫です。はい。
0:22:54	そしたら1枚紙ですので簡単に、この前と少し変えた点を中心にお願いいたします。
0:23:01	はい。宮城の伊勢でございます。代表設備削減設備の整備の考え方ということで、本日朝ささせていただきます1枚ものでございます。前回、0点で10分ぐらい書いていたものを大きく何が柱かと。
0:23:16	いうことを整理をしました。基本的にまずは、基本設計方針の要求事項との関係ユフ前回の説明パターンと言っていた、この組み合わせですね基本設計方針と設計パターン説明パターンの組み合わせ。
0:23:29	これで代表を選ばなきゃいけない対象を決めていこうということです。その中で、対象の段設備と共通的な設計の場合は、どれを選んでもいいという場合ですね。
0:23:43	その場合は、施設のプロセスの特徴であったりとか、いうことを考慮して代表を選びましょうと、いうこと。あとは系統としての説明を、
0:23:52	していくということが重要な場合にはどういう系統としての説明をする中から代表云々サブ云々ということを選んでいくと。
0:24:01	いうこと、また
0:24:03	具体的には何かっていうのがなかなか整理しづらいところですけど改造内容とか評価替え、改造内容ですねこういったものを考えて選びますと、いうことも含めて考える要素かなと。
0:24:15	二つ目の丸ですけど、基本設計方針の要求事項で対象物がもう特定されているもの。
0:24:21	後は、当該設備を代表として提示をするということ。
0:24:25	これがそれぞれの設計要求事項を設計方針行政共通の要求事項からどこへ代表設定していくかという大枠になると思ってます。
0:24:35	さらに、全体を見渡したときに、合理的に代表の出野説明を整理することからすると、一つの設備で複数の業績ヨシノ営業事項を説明できるように、なるべく合わせてできるような、
0:24:50	代表の選び方をしようということです。

0:24:54	もう一方、この差分の話を決めないといけないけどこれは前の説明の内容で、どこまで掘り下げて説明するかという資料 3 であったりの内容を考えた上で、
0:25:08	多分の話を、それぞれちゃんと設定していかなきゃいけないと、いうことを整理をしましたということでございます。
0:25:16	まだ若干私も頭の中でちょっと右往左往してますけど、最後のマルはこれをちゃんとマトリックスで整理をして、代表土佐文が何なのかを明確にしていくと、ということかと思ってます。
0:25:29	設計、説明文で対象設備をタテ國西で横に設計パ説明パターンをです ね置いて、
0:25:37	0 代表差分野瀬整理をしていくと。
0:25:41	ただし耐震とか竜巻とかですねいろんな項目で、M設定方針の要求事項をせ、説明する上ですすね。
0:25:51	関係する要素っていうのが何かというのをブレイクして説明しないといけない場合は、そのブレイクしたものを、さらに添付でつけた上で、代表さんの考え方の補完をすると。
0:26:03	いうことが必要かということで今考えていたところでした。以上です。
0:26:08	はい。
0:26:09	はいありがとうございます。
0:26:11	規制庁の荒井ですけど。
0:26:13	この考え方の、
0:26:15	まとめたその前提として、
0:26:18	何を目的にこの考え方をまとめていったのかっていうのを確認したいんですけど。
0:26:24	これで主眼に置いてるのって、資料 2 と 3 のどのフェーズ 2、
0:26:29	置いてるのかっていうのが、
0:26:32	不明、4 っていうのもあるんですけど、
0:26:35	あと説明グループ内の代表の考え方っていうことになるんですかね。
0:26:45	そこら辺が少し前提がわからないんですけど、1 回すいません日本イシハラでございます。
0:26:51	そうですねその前提を書かないとそうですね、今考えてたのは、資料 3 であったり資料 4 であったりの中で、特に 100 万点鷲尾さんでの代表、同じ説明グループの中での代表をどうするかと。
0:27:04	いうことを念頭に書いてました。
0:27:08	そういう意味でいくと確かにこの前に、資料 2 でやることでの代表っていう設計説明分類間での整理の考え方っていうのも併せて書かないと全体が繋がらないということで今認識をしましたはい。すいません。

0:27:23	はい。瀬戸アライですけど要するに具体的にどのような作業を進めているのかってところとどうリンクしてるかっていうのが、この考え方がですね、わからなかったっていうのが、今おっしゃられる通りで、
0:27:35	資料 2 の中でやる作業と資料 3 の中でやる作業、資料 4 の中でやる作業っていうのは、
0:27:41	あってそれぞれに共通してか、使える考え方なのかそれとも特化した考え方なのかっていうのが、多分整理しきれていないような、
0:27:51	気がしてですね。
0:27:53	そこは
0:27:55	各フェーズに合わせてどう、
0:27:57	使えるかっていうのは、改めて
0:28:00	検討する必要があるのかなと思います。それでその上で、最後にマトリックスの話ありましたけど、
0:28:07	今日先ほど説明いただいた、
0:28:11	例えば閉じ込めの漏えいの話で、マトリックスあるじゃないですか。あれとは違うんですカネコと言ってる内容は、
0:28:21	はい、弓削志田でございますやりたいことは、先ほどのパワポで言うと 16 ページですかね、でやってることと同じですただこれを全体の今で言う、全条文、全説明。
0:28:38	設計、
0:28:40	パターン。
0:28:41	書き合わせたとすごい細かいマトリックスになるなと思っていて、この 16 ページの表は、どちらかというところ、ここで言う添付でつけると言ってる具体の別表という意味ですかね。
0:28:56	これが 16 ページに相当するかなと思ってました。
0:29:01	はい。
0:29:02	そういう意味で、
0:29:03	先ほど、
0:29:05	資料の資料 4 の話でいうと、例えば評価対象の選定のところで、保護法代表の話が語られるってなったときに、
0:29:15	代表の視点っていうのは、
0:29:18	例えばどれになるんですかね、この中でいうと、
0:29:37	4 番目のやつは多分出てくると。
0:29:40	思うんですけど、
0:29:42	視点なのかっていうと視点ではないような気がしてて、
0:29:46	説明の仕方が書いてあるだけで、
0:29:52	ですね。はい。はい。

0:29:55	なので費、その上の一つ目のやつが、
0:29:58	そうなのかなと思うんですけど、多分これは複数の基本設計方針間の話をしてるんで、どちらかという資料3とか、そっちの内容になってるのかなと思ってんで、
0:30:10	多分要素としては、
0:30:14	基本設計とかっていうところで、限定せずに書いてしまえば、資料1から資料2から資料4の、
0:30:23	共通して使える視点が導き出せるのかなと思ってんですけど。
0:30:29	はい。
0:30:31	宮城瀬谷でございますはい。おっしゃっていただけてる通りなのでちょっと全体を包含する大枠の基本的な考え方と、
0:30:41	いうことでいけば説明しないといけない項目と、対象物の関係で、それを本当網羅的に説明できるものみたいなものを代表にしますよと。
0:30:53	いうこと。それでは、説明内容を考えたときに、その代表だけでは説明できないような、差分がある場合には差分として明確にし何が差分なのかを明確にして、差分としての項目を立てていくと。
0:31:08	いうことの項目はやり方は変わらないと思いますので、大枠の考え方と、具体のそれぞれの資料3であったり資料4であったような考え方っていうのが個別にあるのであれば、それを
0:31:21	作業の流れに沿って書き分けていくということで整理をしたいと思いません。
0:31:26	はい。規制庁の新居です。はい。よろしくお願いします。
0:31:31	全体的には私からは以上で他規制庁側から確認等あればよろしくお願いします。
0:31:40	昨日、今のはなCを私なりに理解をすると、
0:31:48	現状だと基本設計方針の要求事項って書いてあるところろは、説明すべき事項、
0:31:57	言えば全体に通じるっていうことかなと。
0:32:00	もう持ってて、一方
0:32:05	資料3では、条文化も含めながら、一通りのものが説明できるっていう視点が強く出てくるし、
0:32:16	資料4であれば、評価方法と、
0:32:21	いったところでの
0:32:24	細分化が進むので、
0:32:27	しかも、
0:32:28	説明すべきものっていうのは、1条文の目的みたいなのに結構集中するので、

0:32:36	その点でも、ちょっと
0:32:37	違いが出てくると。
0:32:39	ということかと思えます。ただ
0:32:43	説明すべき事項をなるべく中、全体説明できるようなものという趣旨は変わらないと。
0:32:50	一方で、そういった視点が少し違いが出てくる等、単純にそれぞれでやっていると資料3と資料4で代表が違うと。
0:33:00	いうことが出てきてしまうんですけど、そうすると先ほどから話あったように資料4の前段としての資料3がないと困ると。
0:33:07	いうことがあって、資料3で代表選定する際は資料4での代表、
0:33:15	とも整合させるということが出てくると思うんですけどいかがですか。
0:33:19	はい。宮城の石田でございますはい。おっしゃっていただいている通りだと思えますそういう形で、MOXでも、
0:33:26	資料3、追加したりということもありますので、資料の代表を決める時には、資料4での評価での代表ってということも考えながら、
0:33:41	説明をその前段としての条件としてのサポート設計という意味での、
0:33:46	代表の説明ということをしなれないかと思っております。はい。
0:33:50	なので
0:33:53	普通の話と、全体見渡してって言った時の、有意事項として一つそれは追加をしていただいたらいいかなと。
0:34:01	思います。
0:34:03	その上で、現状書いてあるやつ、一つ目の丸のレ点等、下の丸との関係なんですけど、
0:34:11	移転の三つ目ってというのは、
0:34:16	これは下から二つ目のマル。
0:34:19	うん。
0:34:21	いいのか。
0:34:23	ニワ下でしたでございますこれは私が消し忘れた可能性もあるので、言っていることは同じです。
0:34:30	はい。どっちか一残るのかなと思うと、
0:34:45	板野丸尾残して上のレ点を削るかなと思ってましたが、
0:34:50	合ってますか。
0:34:53	多分そっちだろうと思うんで、御説明パターンとして既設と、
0:35:00	新設で違いがあるってなると、評価方法が変わってきたりしちゃうので、
0:35:05	本当かっていう気がしますから、多少その設計として、改造のときには制約要件があるっていうところは、
0:35:15	あるんで、

0:35:18	レ点なくもないんだと思ったんですけど、
0:35:22	下の方で、その関係も含めて、
0:35:28	抽出できるようにしておいていただければいいかなと思います。
0:35:35	はい、日本ニシダでございます承知いたしました。
0:35:39	コサクですそれで、最後の丸の話で、結局あれですかね、
0:35:47	全体としての設備リストに代表するよっていう表を作りつつその時には、
0:35:55	後で言う、横軸は、
0:35:59	あまりその細かく設備に大枠として見せるよう、
0:36:02	その分、
0:36:06	具体についてはまた別に、資料3での、先ほどの対象のところ、被水4 で言うた評価対象のところ、資料3ではまた、
0:36:17	それなりにということでここに、その視点具体を示していくってこと ですかね。
0:36:24	はい。日本イシダでございますその方が、全体も見えるし、ここ のところにケアしてる部分があるということも別の紙で作っておけば その繋がりが見えればですね、
0:36:36	わかりやすいかなと思って考えたところでした。はい。
0:36:39	はい、古作ですわかりました。
0:36:42	資料4については先ほど大分話をしたのでイメージはいたと思うん ですけど、シバオオバってどうですか。
0:36:49	はい。
0:36:50	吉田でございます。正直今から関係設けて、あんまり具体のイメ ージが頭ん中にでき上がってないんですけど、ちょっと考えていかな いかなと思ってるところでしたはい。
0:37:03	はい、そうです。それがですね。
0:37:07	今日、資料提示があったところだと思うんですけど最初にグループ1 でちゃんとできてないところに直結してると思うので、ヒアリング は明後日でしたっけ。
0:37:21	明後日も午前中ですねはい。はい。そこまで2少しイメージを持 ってですね、対応いただければなというふうに思います。
0:37:31	はい。
0:37:31	弓削西浦でございます。承知いたしました。ちなみに、それで 言うと、
0:37:38	イシグロさんなりは、
0:37:41	これは聞いているのでしょうか。
0:37:49	六ヶ所事務局です。
0:37:51	今、会議室側にはイシグロ参加してございません。
0:37:57	はい。フォローするように伝えておいてください。

0:38:01	はい。
0:38:02	了解いたしました。
0:38:04	補足です。で、アライが先ほどお話ありましたけど、
0:38:10	全体で1時に再処理とMOXってことだったりMOXだ等、工事会と、
0:38:18	ということがあったりって点があるので、それもポイントとしては挙げておいて、
0:38:26	ドーン関係を、
0:38:29	認識しておくかっていうのは入れといてください。以上です。
0:38:33	はい、宮城西原でございます承知いたしました。
0:38:40	はい。他規制庁側から、
0:38:43	確認等ございますでしょうか。
0:38:53	はい。具体的な話として、
0:38:56	再処理の方は、類型化の効果っていうのは多分、多分にあると思いますので、その中でも議論していければと思っております。
0:39:06	では、
0:39:08	都築、次の資料にしましょうか、DBSAの
0:39:12	日付の話。はい。
0:39:14	はい。宮城ニイツ様でございます。
0:39:19	後ろの表は全周お出したもので、頭の文章を青字で修正したものを、今日、朝すいませんこれも朝ですけど、お出しをしています。
0:39:33	特には、別添と書いてある右下3ページのところです。
0:39:40	からです。
0:39:42	まずは多様性独立性位置的分散のところを、36条の14から始まるシリーズですねまずそれぞれ何を言っている、基本設計方針なのかと。
0:39:54	いう項目を明確にした上で、それぞれに対して何をどことひもづけたいかと、また36条側で整理するものは何かと言うことを、拡充をさせていただいてございます。
0:40:07	一つ笹伊佐3ページポツ幾つかありましたけど、下から2番目のところで位置的分散の話については機能維持の手段の一つということで、
0:40:18	そう考えた上でのDBとの紐づけをするということ。
0:40:22	多様性独立性については、この間、ちょっと口頭でお話したものを、努力させていただいたものになりますけど、
0:40:32	設備が有する機能と、大体元のDBとの関係で、こういった設計をするのかと、いうことを考えた上で、紐付けを整理していこうということには、
0:40:44	重大事故の対象設備の機能説明とあわせてやな、やった方が合理的なものっていうのは、やはりあると思うので、そこは個別条文との紐づけをしようということで整理をしています。

0:40:55	ということです。
0:40:58	右下 4 ページのところは、環境条件との一番上のポツですね、環境条件との関係で、屋内保管だけではなくて阻害要因がある場合には、
0:41:11	健全性確保っていうのはどういう考え方ですかっていうのをちゃんと理解した上で紐付けを考えようと、ということです。
0:41:19	はい。
0:41:20	4 ページの(2)の可搬設備側、これも先ほどの 36 条の要求事項を理解した上で、それぞれ必要なところに紐づけていきましょうということをブレークして書いたと。
0:41:36	ということでございます。
0:41:39	5 ページ目の 2 ポツの悪影響防止、これもちょっと具体のブレークの仕方というのを考えた上で、考え方に付記をした形になってます大分ちょっと細かくなってしまいましたけどアンテナみたいなもので、
0:41:54	屋外にあって、
0:41:56	構造健全性構造だけではなかなか外部消費税分耐えるということが維持できないものは、
0:42:04	予備品との交換ということも含めて、機能維持ということ。
0:42:09	また、悪影響ですので、それ自体が、
0:42:13	与えるかもしくは転倒落下によって景気を及ぼす可能性があるかということ、どういう設計を確認しなきゃいけないかというのを考えて、それぞれちゃんと紐付けをしていくということ。
0:42:24	会えるということも含めて、固縛具や固定で、設計をするということ個々て固縛の設計が気になる場合にはこれ
0:42:35	これでどこに振っても最終的には竜巻の 29 で、全部受けるという形で整理をしたと、ということでございます。
0:42:45	次、あと右下 6 ページの、
0:42:50	3 ポツの(2)番ですね。
0:42:55	屋外にある可搬設備ですねこういったもので、保管場所として保管場所が違うものについての、
0:43:02	他に当たって何を考えないといけないかと。
0:43:06	いうことを整理をした上で、設計との紐づけをしていくということです。
0:43:15	あんまりあれかね。
0:43:18	あとは 7 ページの 4 ポツのアクセス性、操作性アクセス性のところは、前回ちょっと話が、
0:43:25	部隊が何か文章としてなかったので話がうまくできてなかった溢水とか薬品漏えい、そういうハザードとの関係で、
0:43:34	どう結びつけていくか、SA側でしっかりと、

0:43:39	どういう場所を考慮しなきゃいけないかっていうのを明確にした上で、操作性、
0:43:45	に関する設計と日間の関係も含めて、いす医薬品側の行政教師に振り分けていくということで整理をしたいと思っているということでございます。
0:43:56	はい。説明は以上です。
0:44:01	規制庁の内村です。
0:44:04	まず最初に一応、
0:44:07	念のために確認なんですけど中身として今回、考え方を整理されたのは、3 ページ以降のところだと思いますけど、2 ページ目とか 2、前回付けられてた添付 1 とか添付 2 っていうところは、
0:44:20	2 月 15 日提出資料参照となっておりますけど、議論を踏まえて、今精査をしていって、
0:44:28	いる状況っていうふうに理解していいですか。
0:44:32	日本原燃の瀬川です。ですね、添付 1 及び 2 の方につきましてはこの考え方に沿った整理は並行して進めておるんですけども、
0:44:44	実態としての実作業がちょっと追いついてないといったところもあって、今回ちょっと更新をしてなかったものになります以上です。
0:44:52	はい規制庁のフジワラ、ちょっと資料参照と書いてあったので、精査中とかの方がよかったかなっていうぐらいです。考え方を踏まえて、
0:45:03	作業が並行してされているということで理解しました。次に確認したいのが、3 ページ目で、
0:45:11	基本設計番号を具体化で、わかりやすくしていただいたのがよかったかなと思ってます。
0:45:19	その際の、3 ページ目の一番下のところで、
0:45:24	の整理が前回のところを踏まえてブレイクしたという話だったんですけど、この多様性独自のこの文章を読んだだけだと、多様性独立性の部分は、
0:45:36	まず、SAの個別条文に紐づける、紐づけ元が 16 から 21 で、
0:45:45	個別条文、Qだけしか見えなかったんですけど、これは事象の 8 条の方にはひもづかないんですか。
0:45:53	日本原燃の瀬川です。
0:45:55	えーとですね、ちょっと記載が弱いかもしれませんが 3 ページの一番下の 2 行ですねまた書きのところ。
0:46:03	やはり事象の観点というのを、ないがしろにはできないので、キモ付け先は個別条文に、のメインを預けるには預けるんですが、

0:46:14	そちらの方できちんと紐づけごとの事象ですね、竜巻の観点火山の観 点こういったところを踏まえた上での説明をするという、意思表示をした つもりでした。以上です。
0:46:28	うん。
0:46:29	規制庁の藤原です。一応その文章を読んで、
0:46:35	そちらの間、事象の方の、
0:46:38	うんを考慮するっていうのは、認識をしたんですけど、特に他の部分は 36 条から、ある程度まとまりを持ったりとか、それぞれニツタところが違 う移動。
0:46:52	8 条の竜巻のナンバー2 みたいな形にはなるんですけど、その多様性 と独立性の考え方っていうのは、直接そっち側に行くものではなくて、
0:47:04	参考にするというか、それを念頭に考えるみたいな形になってるってこと なんですかね。
0:47:12	はい。日本原燃の瀬川です藤原さんがおっしゃられたことを意図してお りました。はい。以上です。
0:47:23	規制庁の藤原です。
0:47:25	ソウノ時に、
0:47:29	1 滴ばあさんとかそういったところと他の多様性であったり俗世規制、位 置的分散、どれかで、機能を維持して、やっぱ使えるときにちゃんと使え るようにしますみたいなところ。
0:47:44	特に何か相互に関係して、
0:47:48	セットとして何か説明しなきゃいけないみたいなところはないんですか ね、そういうのはな。なくてかある場合は個別条文の方で整理するとか になるんですか。
0:48:01	日本原燃の瀬川です。
0:48:03	えーとですね。
0:48:05	位置的分散の設計においてもですねやはり個別条文で、
0:48:12	フォローすべきところはあろうかと。
0:48:15	思っております。
0:48:17	その位置的分散、
0:48:26	すいませんコサクです。はい。一番悩んでる場所だから、右往左往して いるのもしょうがないと思うんですけど。
0:48:39	考え方として結構広くいろいろなことを考えて、どうシステム設計するか と。
0:48:46	いうことになってると思いますので、単一の説明がつかなくて悩まれてる ということと理解をしています。
0:48:56	なので、個別条文で説明って無理が、

0:49:00	あって、
0:49:03	多様性、
0:49:04	どう、
0:49:06	取り組むんですか、独立性ってどう取り組むんですかっていうのは、
0:49:13	各事象を踏まえてですね、どう考えるのか。
0:49:17	ていうのをあげとかないと、
0:49:19	その考えが必要なものはどれですかっていうところで、具体の時に、
0:49:25	必要なものをピックアップして設計すると。
0:49:30	ということだと思うんですね。
0:49:33	大枠でいうと、竜巻等での位置的分散っていう花強いと。
0:49:40	竜巻には機能開口部云々での機能影響っていうのもありますけど、
0:49:47	それを少しイデておいて泥火山の方は
0:49:52	降下火砕物への機能影響っていうのを、
0:49:57	大きく認識をして対応していくと。
0:50:05	基本除灰で対応。
0:50:07	なので一通り、
0:50:09	特に特徴は対応できちゃうんですけど、
0:50:12	9期の関係からの
0:50:16	電源の配慮といったところが
0:50:20	出てきて、そこは多様性っていうのが独立性というのかってのちょっと現状での整理を踏まえて対応いただいたらと思うんですけど、そういう視点をちゃんとしておくっていうことが大事で、それを
0:50:34	ASN議論することなので、DBに持って行く場所が難しいからここでもうけりをつけてしまいますっていう。
0:50:43	本当ならそれはそれでもいいと思うんですけど、そこら辺の判断ってどうされてます。
0:50:50	日本原燃の瀬川です。すいません。コサクさん途中途中からですねちょっと音声が入りませんでした、
0:50:57	開口問題を
0:51:01	語っていただいた辺りぐらいからですねちょっと音声を入れてしまいました、
0:51:07	そこから度、どっから聞こえ始めました。
0:51:10	もうほとんどさ、サイン、最後の方ですね、最後の方ちょっと聞こえてたんですけども、その前のご発言のところをちょっと
0:51:21	把握できてないので、なかなかスッポン内容が入ってこなかったところで申し訳ないです。
0:51:26	開校後、

0:51:30	からだど、その次に火山の降下火砕物の話をしている、
0:51:37	と除灰以外に
0:51:44	呼吸器での機能喪失IIを防止するという配慮がSAにはあって、
0:51:51	速攻どういう位置付けのもと説明するつもりかということが、
0:51:57	を認識しながら対応する必要がありますよねと。
0:52:00	いうことをお話しました。その上で、
0:52:05	それをDBに振るのかDBというか八条とセットでと言ってくるのか。
0:52:11	この多様性独立性という枠の中で個別条文でっていうふうに言うのか、それは何でそういう整理するのかっていうこの考えはどうなってますかっていう質問。
0:52:25	はい。日本原燃の瀬川です。今コサクさんがご指摘された通りですねさ、大森としては3ページの下2行で、きっちりその事象をとらまえて、
0:52:37	多様性独立性という、設計がどうあるべきかといったところを語るつもりはあったんですね、語るつもりはあったんですがただセイリガクとして、
0:52:47	この多様性独立性は個別条文に投げましようというのがこのまた書きの思っていたところなんです。ただ、はい。今野。
0:52:56	真崎さんと藤原さんとのやりとり踏まえてもですね、やはり1回八条でしっかり、
0:53:01	はい。ごめんなさい。私は地上に行ったなきゃ駄目だなんて言ったつもりはなくて、
0:53:09	ここでけりをつけるなり軽量つけるでもいいんです。
0:53:13	なので、何でこう整理しましたかっていう質問をただけなんです。
0:53:18	はい。はい。
0:53:20	はい。日本インターの瀬川です。
0:53:24	説明のまず最初に、二重ルール取りみたい二重取りというかですね、2に移動説明するようなことは避けたいっていうので、まずどっかに預けるべきかなというので、
0:53:37	整理したのが今回になります。その際に、その多様性独立性という設計、
0:53:44	オオクボ、
0:53:45	語る上でですね、
0:53:50	そういう外部商議等の現象に対する観点というよりはですね、機能の観点での説明の方がより対応して独立性という意味でちょっとここに書いたことの繰り返しになっちゃうんですけども。
0:54:04	そこを主眼にですね、そこを主軸に、説明しなければいけない内容のウエイトが重いと。

0:54:13	いう考えの子、考え方もですね、個別条文に振ることというふうに思った次第です。以上です。
0:54:23	その気持ちはわかるんです。で、だとすると、
0:54:28	位置的分散はっていう、
0:54:30	気もしていてですね、結局この項目、
0:54:34	一番最初に多様性独立性位置的分散ということで挙げた理由は、DBに対して、常設SA、
0:54:44	常設衛星に対してかは生徒、
0:54:47	ということでバックアップを順々に用意をしていってる。
0:54:53	それぞれの関係性において、A型、前段が失敗してても、次が生きるように、
0:55:01	ていう配慮があるので、一つの機器の健全性なり何なりっていうことでは説明がつかないから、総合関係っていうのを説明するのに、まずは個別条文で、機能、
0:55:12	他の機能っていうのを明確にして話をしなきゃいけないよねと。
0:55:16	ということで挙げられてるんだと理解をしています。この点は瀬川さんにスピード認識をしていたところだと思うんですけど、
0:55:25	氏原さんもそれはそれで理解、いいですよ。
0:55:29	規程等のフジワラです。はい。大丈夫です。
0:55:32	はい。補足です。その上で、先ほどの瀬川さんの説明論点、論点というか、
0:55:41	うん。
0:55:42	混乱、混乱、悩んでいる原因になってるかなと思うのは、どちらかに寄せなきゃいけないっていう思いがあるからだと思うんですね。
0:55:51	今の
0:55:53	バックアップ呉として、全体の設計、相互関係を説明しなきゃってなるとやっぱり個別条文だと思うんですけど、一方で先ほどの降下火砕物での電源の信頼性っていうところ言えば、
0:56:11	ビター水間りを起こさないようにしますっていう方針は個別具体的に説明しなきゃいけないくて、
0:56:18	そのときに、電源の条文で説明しますか。
0:56:23	SABだって、データベース回りのないようになっている設計はありますよね。
0:56:28	ということになると思うんですよ。
0:56:31	そうすると、個別条文に振った上で、個別条文から関連するところに飛ばすっていうことはあってもいいような気がするんですけどいかがですかね。

0:56:46	はい。日本原燃の瀬川です。
0:56:48	Ⅳ。
0:56:49	うん。
0:56:51	ほら、小コサクさんのこの話を聞くとですね、嘘、そういう整理もあるなっ ていうふうにちょっと方向を持ってしまってますね。
0:56:58	特に異論というかですね、1件はないですはい、そう思います。
0:57:06	のコサクです。藤原さんが聞きたかったのってそういうところですかね。
0:57:12	はい。規制庁のフジワラですそうですね。
0:57:16	はい。個別上部へ行くのもありだしていうところで思っていました。位置 的分散が36条から80に言ったので、そっちのルートもあるかなとも 思いつつ多様性、独立性についても、タダ等、
0:57:32	今言われてた個別条文で機能の話をせ、きちんと説明した上で、対応 する条文八条のところに行くっていうのもありだと思ってます。
0:57:43	以上です。
0:57:45	はい。補足です。そうするとですね先ほど言いかけたんですけど、
0:57:49	位置的分散もあわせてそういうふうに整理した方がいい。ないんです か。
0:57:55	はい。日本原電野瀬さんもそのように思います。位置的分散も同じです ので、やはり個別条文で機能との関係を語った上で、八条とかの観点 で、さらにどうかと。
0:58:08	いう整理がありかなというふうに感じました。
0:58:13	はい。コサクです。よろしくお願ひします。そんな時ですね、結局
0:58:19	SA特に可搬になってくる等どこまで健全性を求めますかっていうとき に、
0:58:27	その前段になるDB、常設衛星がどういう状態なのかそれとの関係がど うなのかっていうことを踏まえながらじゃないと説明がクローズしないと 思うんですね。
0:58:38	この間の今日ついてない、
0:58:44	添付呉。
0:58:46	特にいいですかね。見る等、
0:58:50	可搬については健全性は基本的に求めず、位置的分散だけでいきます っていうふうに、
0:58:59	だけちょっとちょっと語弊がありますね。を中心にいきますと、
0:59:03	常設では、健全性求めているところを可搬では求めませんっていうふう に整理をしてるように見えるん。
0:59:11	ですよ。
0:59:13	ただ、本当のところはそこまで極端じゃないような気もしてですね。

0:59:17	そのあたりの程度感をどう考えるのかっていうのを分析する必要があったんだと思ってたんですけど、そこからまず認識としてはどうされています。
0:59:29	はい。日本原燃の瀬川です。すいませんちょっと表現のせいなのかもしれませんが、オカ版は位置的分散でっていうふうに原則、位置的分散でというふうに逃げてるつもりはなくてですね。
0:59:45	ごくごく一部の現象に対しては、SAの発生の関連性を踏まえてですね、位置的分散に期待するというのが一部あるのはあるんです。
0:59:56	ただそれを前提にすべてを整理するつもりはなかったのが実態です。はい。以上です。
1:00:04	はい、古作です。この辺りが
1:00:11	等、
1:00:13	多様性、
1:00:15	独立性、位置的分散で整理をしているところ等環境条件で整理をすることっていうのも、兼ね合いだったりもすると思うんですね。
1:00:28	特に私今お話ししたのは、多様性位置的分散のところでの記載を見るとっていうゴトウなので、
1:00:37	健全性の関係は多様性独立性とは直接絡まずにそれぞれ同じように防護をしますよと。
1:00:45	いうことの面が多いんではそれで見えないのかなっていう気はしますけど。
1:00:52	ええ。
1:00:54	そうだな。
1:00:58	そういう点でも
1:01:01	款1的分散多様性知的分散のところでの要求事項と、環境条件でのものっていうのを並べていって、この設備は、トータル、こっちの要求からこういふところが必要ですよと。
1:01:17	ここまでやりますよと。
1:01:19	いうことが、見えるようになるといいなというふうに思っ
1:01:23	ています。
1:01:26	そうだな。
1:01:30	今までの話からすると個別条文に1回、
1:01:36	飛ばした後でそれぞれの関係性を踏まえて、設備設計として配慮することと、
1:01:45	いうものについては改めて振り直すよと。
1:01:48	見直さそこから振っていくと。
1:01:50	いう部分。

1:01:52	ことも、
1:01:55	言うと、今回個別条文の整理はまだやってないですね。どうやっていきましようかっていうのを、
1:02:02	何かやり方とかで、イメージできますか。
1:02:08	日本原電の瀬川ですちょっと痛いところを突かれたなと思って、共通中に上どうしてこうっていうのをすごく今、アノは、
1:02:19	お話を聞きながら悩んでたところでしたまさにですね、
1:02:24	を受けて、はい。
1:02:26	機能設計等、
1:02:28	あと各他のD条文に、
1:02:31	ひもづけるところっていう整理だけはまずそっか、資料2だけでもバス感じ。はい。
1:02:39	いや、それはサンポ澤部隊の設計の説明資料に相当がちゃんとわかるように書かないと、何やってんのかよくわかんないけど。そうですね野瀬1000時Ⅱちょっと観点違いますけれども、
1:02:55	第二グループの溢水の資料にもないですね。
1:03:00	この整備がいいのかどうかわからないと。
1:03:04	いうご指摘。
1:03:07	と類似したような、
1:03:09	対応が必要かなと。
1:03:12	今ちょっとイシハラと話してて、はい。思いました。はい。御説明で進めていく、資料2をまず粗々でも作っていただいて、
1:03:22	特に今の
1:03:25	外部衝撃だったり何ていうんすかね、ハザードに対応するという視点について特記すべきこと。
1:03:34	ていうのを明確にすると。
1:03:37	いう作業。
1:03:39	今回個別条文に振るといったときには、各事象ごと、間がいただけるでしょうから、その時に、
1:03:49	ポイントを抽出して個別の
1:03:53	個別条文での資料2を作るにあたり、
1:03:58	ちゃんと入れ込むと。
1:03:59	いうことをしていただくと、八条側に寄せるといったところが網羅した形にできる。
1:04:07	で、その時に

1:04:10	ビルに全体でもいいしその部分抜粋を要約した概要でもいいと思いますので明示していただいたらいいかなというふうに思います。一旦藤原さんに戻します。
1:04:23	はい。規制庁の藤原です。
1:04:25	整理の方向性を明確にいただきありがとうございます。結構、今回それでいうと、整理が少し特にコマタ岩瀬 1クノ3の1ポツのところですかね。
1:04:39	整理が変わってくると思うので、
1:04:44	でもあれですかね、
1:04:46	ちなみに、ここ、
1:04:48	この整理の、
1:04:49	スケジュール的には、
1:04:51	21人も資料提示があって22人も部屋みたいな形になってたんですけど、それで考えているのは今回のヒアリングでの方向性を踏まえて、
1:05:03	とりあえずはこういった考え方の方針ペーパーとかこういった、
1:05:09	もので生後、
1:05:11	資料提出を行ってヒアリングするっていうイメージか、それとももう、もうちょっと、
1:05:16	ある程度さっきの資料2の粗々とか作ってみたいなところという感じにしようと思いますか。
1:05:24	はい。日本原電の瀬川です。
1:05:28	できれば、
1:05:30	何かちょっと個別条文全部ってわけにいきませんので、私がもともと担当してた蒸発乾固とかですね、そういったところを、のちょっと一部分を抜粋したような形で、
1:05:45	対応政治的分散を個別条文でこういうふうを受けて、これを八条側にこんなふう飛ばすんだというイメージを、
1:05:53	できればつけたい。
1:05:55	だと思います。
1:05:57	はい。
1:05:59	規制庁のフジワラですわかりましたじゃ、文章で考え方を示すとともに、例示的な部分は、資料2の形で、
1:06:10	36条から個別条文の蒸発乾固の条文、そしてまた八条の関係する事象のところについていうところの、
1:06:20	1、何個かの例示を見れるようにするっていうのを、21に提出いただいてってことですかね。わかりましたで、あと、序章で書くのであれば、今回ちょっと、

1:06:33	一部文章で整理していただいているところがあって4ページ目の、
1:06:40	二つ目のポツのところに一つ目のポツで整理した、14番と17番18番といったところでこういうふうにしますみたいなところの、具体的には以下の通りって書いてあるのが、
1:06:50	一番シンプルな授業外に紐づける部分がかかれているだけなので、むしろ17番とか18番っていうところに紐づけると起動するパターン、どういう形になるのかなみたいなのが、
1:07:02	見えなくてちょっと心配になるので、もし文章で書かれる場合は、そういったちょっと逆に何ていうかね、ややこしいというか、ちょっと工夫しなきゃいけないみたいなところであったり、
1:07:13	強い部分を例示に分けていただくといいのかなと思いますし、また、先ほど言っていた事例として表すところも、そういった部分を出していただけた方がいいと思うんですけどいかがですか。
1:07:27	はい、日本へのセガワです。ちょっと私の作った資料構成がちょっとよくなかったですね。今藤原さんがご指摘された部分のイレギュラーケースは同じ4ページのですね。
1:07:39	可搬型のところに書いたのがその思いでした。この(1)(2)の章構成がちょっとよくなかったです。よくなくて、本当は上の基本ケースの14番だけに紐づけるパターンの下に、
1:07:52	14と18件を紐づけるパターンを並列で書けよかったですので、ちょっとそこは見やすいように工夫したいと思います。以上です。
1:08:01	はい。規制庁の藤原です。はい。両括弧2の方にもあるなと思いつつ、これは航空機落下火災の話で、竜巻についてはどうなったんだろうとかっていうふうに悩んだ、心配になった次第です。
1:08:13	ちょっと伝わりやすいように、どう構成すればいいかとか、もしくは、
1:08:21	竜巻でいうと順番に紐付けるのはこういうパターンなんだけど、別のパターンでこれもありますよっていうのが紐づくように、少し、
1:08:30	記載を、
1:08:31	ふやしておいていただければ次の両括弧2の、
1:08:34	オハマのところにもこういったパターンを少し書いてますよみたいなのがわかるようになっていけば、うん。ここのことを多分言ってるんだねっていうところで紐つくと思いますので、
1:08:44	考え方を述べたり、整理の方針を、
1:08:47	書かれるときにはそういうふうなところを少し留意していただければと思いますよろしく申し上げます。
1:08:54	はい。日本原燃長谷川で承知いたしました。
1:08:58	すいません、迫です。この資料のそもそもか書き方というか、

1:09:04	この作業って何なのっていうところなんですけど、
1:09:08	先ほどの石原さんの説明を聞いていても、
1:09:13	何か都合よく説明してませんかのように聞こえてしまうのですね。
1:09:17	そもそもは許可事項があつて、その具体の説明っていうことなので、
1:09:24	どこの部分、設計方針、
1:09:30	具体として、イレギュラーものが含まれていますと、そのイレギュラーは こういう、
1:09:37	方針の中で十分含まれているものであつてその具体ですと。
1:09:42	いうで、なぜならば、
1:09:46	本体を設置的分散なりという考えから、DB調節衛星はこうなつていて、
1:09:54	必ずところ、
1:09:56	前段のと、機能喪失のときにはコウダは生きています。
1:10:01	なのでこの程度
1:10:04	信頼性確保で十分設計要件を満足しています。
1:10:09	いうことを説明するために基本設計方針のどこをどう解釈して分岐して いくのか。
1:10:16	ていうのを位置づけるというのが今回の作業だつたと思うんですけど。
1:10:19	それが見えずにただ方針を変えてるだけっていうのがちょっと気になる んですけどそのあたりはどうなってるんですかね。
1:10:28	はい。日本原燃の瀬川です。ご指摘の通りですね、いいとこどりしてるよ うにやっぱり見えちゃいますので、しっかりですね
1:10:39	育てる基本設計方針の記載っていうものを見る化した上で、それに対 して、
1:10:45	今ちょっと古作さんの指摘、そのままなぞる形になつちやいますけれど も、どう解釈してどういう、イレギュラーな設計をやろうとしてるのか、そう いう言い方もちょっとよくないですね、ちょっと特殊なことをやろうとしてる のかと。
1:10:58	言ったところが、きちんと紐づいて見えるように、資料全体ちょっと見せ 方も、工夫はさせていただければと思います。以上です。
1:11:13	はい。補足です。それが、先ほど言ったその多様性独立性のところから 個別に行った時に、ちゃんと個別に行く時にですね、ちゃん。
1:11:24	と、どの時点での
1:11:26	最終的に個別から振るといったところに繋がるのかっていうのをちゃん と頭オオモトハラの紐づけを明確にしておく。
1:11:35	ということだと思いますので気をつけていただければと思います。
1:11:41	それが繋がると。

1:11:44	イレギュラーな方針だけど、或いは完全な健全性確保じゃないけど、それでも機能としては十分なのねということ、
1:11:55	かどうかというのが判断がつくということかと思います。
1:12:01	大体作業としてはイメージつきましたかね。
1:12:08	はい。日本原電の瀬川です。はい。
1:12:11	現時点でのイメージはある程度できてると思いますので、それで一度まとめ直してですね、またご意見いただければと思います。以上です。
1:12:20	はい。補足です。それで言うと今修正でどんどん変えていってるので文章多いんですけど、
1:12:27	そのポイントだけに絞れば、1 ページ 2 ページで話がつくとか多いんじゃないかなと。
1:12:34	思いますので、
1:12:37	何がポイントかっていうのをまとめ直していただいた方がいいかなと思いますけど。
1:12:43	藤原さんいかがですかね。
1:12:46	規制庁の藤原です。はい。もう少しまとめて、ポイントポイントを、はい。まとめていただける方がありがたいです。
1:12:57	はい。日本原燃のセガワで承知いたしました。
1:13:01	コサクですそれで言うと、今多様性位置的分散のところでは話しましたが、
1:13:09	四つについて自分その個別条文には持っていくもののその元の要求とのどの関係でなのかっていうのを紐付けをさせた上で、
1:13:19	具体配慮すべきことは八条にリンクを貼ると。
1:13:24	いうことで、
1:13:27	その次の悪影響防止、その次の強化
1:13:33	環境条件と、
1:13:34	いったものも、それぞれ紐づけをするということで、対応されているということでもよかったんですけど。
1:13:49	日本原燃の瀬川です今アノコサクさんがおっしゃられたのは悪影響防止なんかも、1 回個別条文に紐づけるのかという、ごめんなさい、1 コサク、そうじゃなくて、
1:13:59	8 条に飛ばすっていうのは、多様性位置的分散は 1 回個別に飛ばした上でという形で鳥羽飛ばしていく。
1:14:12	悪影響防止は悪影響防止の視点で、
1:14:17	どの事象にどういう対応が必要かというのをピックアップして、8 条にそれぞれ飛ばしていく。
1:14:25	環境条件も環境条件でそれぞれ飛ばしていく。

1:14:30	いうことでいいかということです。位置的分散延性的分散の時に環境条件に振ったものは、環境条件経由でっていうことではありませんけど、
1:14:41	無理解はそれでいいですか。
1:14:44	はい。今古作さんのおっしゃられた通りの認識でございます。以上です。
1:14:50	はい。補足です。そうすると、先ほど私が申し上げたところでいうと、一つの設備の説明において、
1:15:03	八条側の受けを見ても、
1:15:07	多様性位置的分散から個別条文経由して受けるもの。
1:15:11	アクゲキ防止として受けるもの。
1:15:14	環境条件として受けるものという三つ並ぶと。
1:15:18	いう形になっていて、さらにそれがDB兼用だったりすると、DBの要件があつたと。
1:15:26	いうことで、悪影響防止なりっていうのは、結局同じになっていくと思うんですけど、その辺りがセットであってそのセットのものがどういう関係であるのかっていうのをまとめておかないと、
1:15:39	説明がまた重複するということになると思うんですけど、その辺りはどう整理です。
1:15:45	していきますか。
1:15:52	はい。日本原燃の瀬川です。ちょっと位置的対応政治的分散の方が1回個別を運営して八条に来るって言った部分が、もうちょっと今回、新たな整理になるので、
1:16:06	まだちょっとイメージできてないんですが、
1:16:08	この悪影響に関しては今回の資料でも記載した、ちょっと下いっぱいごちゃごちゃ書いてるので、なかなかまとめてないですけども、
1:16:17	みずから耐えることで、結果して悪影響を及ぼさない設計にするっていうのが主としてありますのでそれについては、環境条件でやってる設計と同じですよ。
1:16:27	いうことで、36条側で悪影響から完了条件に1回投げた上で、関係条件からまとめて、悪影響の関係も含めて、8条に、
1:16:37	預けると。
1:16:39	そういう整理をしてですね
1:16:42	重複がないように、
1:16:44	という措置を講じたが今回の整理でございました。
1:16:47	はい。以上です。
1:16:51	コサクです。わかりました。そうすると、
1:16:54	位置的分散のところもそうですけど、

1:16:59	健全性を確保するというものについては、
1:17:04	環境条件経由にするということであまりバラバラと同じようなことを引き継がないと。
1:17:10	いう配慮されてるということで理解をしましたが、
1:17:14	一方で、環境条件の中でやっぱり、限定がかかっててすべてにおいての健全性確保じゃないというところがあると思いますので、
1:17:26	一方で波及影響がそういうわけにはいかないということで差分が出てくると思うんですけど、
1:17:32	それについてはどう考えてます。
1:17:37	はい。日本原燃の瀬川です。5ページの、
1:17:41	ところでして、2ポツの上から二つ目のポチですね、ここ、今黒字で書いてあるところですがここは基本的にみずから耐えることで、
1:17:53	悪影響を及ぼさないというベースとなる設計になりますこれは環境条件でやってる設計と同じなのでそちら側に預けるという整理をしてございました。で、青字で追加している、三つ目四つ目のポチになります。
1:18:07	当期構造的には壊れちゃうんですけども、予備品を期待したり、修理をしたりして、トータルで機能維持を図るという、ちょっとイレギュラーな環境に対する設計ですね、これをやってるもの。
1:18:20	は、設備が壊れてしまいますので、この壊れるという観点は、波及的影響そのものの、
1:18:28	現象そのものになりますので、環境条件に預けるようなことをしないでですね直接波及的影響側に、こういうものに該当するものは、直接波及的影響側に紐づける。
1:18:39	そんな整理をやったのが今回の整理になります。以上です。
1:18:46	古作です。その差分分ですね。
1:18:50	それって、結局は
1:18:53	環境条件の方で、
1:18:55	DBと違って、そこは守りませんと言ったところってということになりますよね。
1:19:03	はい。その通りです。
1:19:05	はい。補足です。で、その説明自体がは悪影響防止と環境条件で、ダブリませんかかっていうのは、
1:19:13	どうですか。
1:19:21	はい。
1:19:24	ダブリることは認識しました。
1:19:27	うん。
1:19:28	ちょっとどうだという分。

1:19:34	古作です。
1:19:36	まず関係性はそれで認識が共有できたかなと思うんですね。
1:19:41	そうするとアノを、
1:19:47	どんどん、
1:19:49	説明性っていう関係からすると、
1:19:54	まずは多様性知的分散で、TB常設衛星可搬衛星っていうのの関係性 というのは話をすると。
1:20:04	いうことで、その上で、どの程度の健全性っていうのを基本
1:20:12	取るかということ、環境条件でのその設定での差分っていうのを説明を すると。
1:20:17	いうことで、その上で差分について、
1:20:23	悪影響防止、
1:20:24	フクイの対応っていうのをどうするのかってのを説明するっていう流れに するとわかりやすいですかね。
1:20:34	はい。日本原電の瀬川です。
1:20:37	はい。
1:20:39	ちょっとその方向で1回整理をさせていただければと思います。はい。
1:20:45	ナカナカマタアノ。
1:20:47	バシッと濃いイメージがコウできてないのが難しいんですけどもはい。
1:20:51	ちょっと1回試行してみたいと思います。
1:20:53	はい。補足です。
1:20:55	まず、今日の
1:20:58	ポイントをまとめた資料の、
1:21:01	形ではそういう順番にさせていただいて、
1:21:05	その上で
1:21:08	その認識を、
1:21:10	整理したところで
1:21:15	資料2の表の形にする際こういうふうな形でまとめましょうというような ことが議論できたらいいのかなあとと思います。
1:21:26	うん。
1:21:27	藤原さんどうぞ。
1:21:30	清町の藤原です。
1:21:32	はい。そういう意味ではあれですかねその8ページ目についてるよう な、
1:21:41	関係性のところで簡単に示してもらったりする方がいいんですかね。
1:21:46	これはちょっと違うか。

1:21:53	8 ページ目で言うと、そういうことがありますよっていう流れだけであつて、どういものがそれに値するのかっていうのがわからない。
1:22:03	ところがちょっと、
1:22:04	足りないところなのでそこを明確にするっていう作業かと思います。
1:22:08	規制庁の藤原です。ありがとうございます。すいません。はい。そうなんだって、8 ページをもう少し、
1:22:16	充実させる。
1:22:18	ていうところかなと思います。ちょっと、8 ページ目で気になってるのが、言葉としては崩れて、言いたいことはわかっているものの、ちょっとこの言葉を使うのがいいのかみたいなどころ。
1:22:31	ここあるんですけど、
1:22:33	一番底、ブルーのところのみずから耐えるって言葉が書いてあったりするんですが、屋内に入れてるから、多分、
1:22:42	機能喪失しないような、壊れないっていう類なものがこういったところにも入ってたりするので、何か、何を示しているものなのかはちょっと、もう少しわかるようにはしていただく方がいいのかなと。
1:22:55	思います。
1:22:57	で、その上で、ちょっと整理をもう少し、
1:23:01	追加していただければ、
1:23:03	端的にわかるものが、
1:23:07	表としてまとまるのかなと思いました。
1:23:10	現在大丈夫ですか。
1:23:14	はい、日本原電の瀬川です。
1:23:16	はい。14 フェーズで8 ページですね、8 ページのような関係性でなおかつきちんと基本設計方針がどういったことを述べていて、それに対してどういう解釈で、
1:23:32	こういう設計をやろうとしてるんだという、そういった情報もですね、
1:23:37	書かしながら、この8 ページのような頭の整理をやっていくことをちょっと施行したいなと思います。はい。以上です。
1:23:46	はい規制庁もちろん、今ある形にとらわれなくてもいいんですけど、わかりやすい関係性。
1:23:52	がわかりやすいものを整理していただけたらと思いますしそこに必要な情報は付加して欲しいと。ただいっぱいいっぱい書きすぎないようにぐらいいですが、言葉足らずの危険なので、
1:24:04	ある程度の情報は入れていただけたらと思います。
1:24:09	藤コサクです。それで言うと、
1:24:13	これはその関係性を示しているんですけど、

1:24:18	AとBと同じ。
1:24:20	方針で対応できるものなのか、プラスアルファがあるのかってところはちょっと見えなくて、
1:24:28	プラスアルファーとい
1:24:30	ていいのか
1:24:32	別というところちょっと語弊がありますが、SAオリジナルの設計ってということ。
1:24:37	鳥飼の方がいいのかっていう。
1:24:40	上とかかは、何らかわかるようになりますかね。
1:24:47	はい。日本原燃の瀬川です。
1:24:49	ちょっとこちらがですねもともと8ページの資料が、環境条件と悪影響の関係、悪影響防止の関係ですね先ほど結局悪影響防止でやろうとしてる設計が環境条件でやろうとしてる設計と、
1:25:02	同じなのでそういったものを合流させますと言ったところを念頭に作った資料なので、今まさにトータルですね、
1:25:13	整理しようとしているところに、全然情報が足りてない。
1:25:17	良いものになりますので、今コサクさんがおっしゃられたようなそのエッセイとしての特殊な対応、そういったものが必ずしも明確に見えるような形になってございませんので、
1:25:28	そこをちょっと工夫して、まとめ直したいと思います。はい。以上です。
1:25:32	はい、古作です。わかりましたよろしくお願いします。
1:25:36	もう一つこの表で言うと、これは先ほども少し話題にあったように悪影響防止、環境条件等だけでしかないの、
1:25:46	先ほどの位置的分、多様性知的分散のところ概要抽出でもいいのでって言った。
1:25:54	古藤。
1:25:55	ができると、この表の中にもそれから、この表のような形でですねその関係も見えるようになって、
1:26:03	全体像がわかるかなと思いますので、できればそういうところまで施工していただくと、いいかなと思います。以上です。
1:26:14	はい。日本原燃のセガワで承知いたしました。
1:26:22	テイチョウのフジワラです。
1:26:25	基本的にはこの資料で確認したいなと思っていたところは、今の話で結構整理が変わっているまでの話で、整理が変わってきたりするところではあるので、
1:26:39	減ってるような気がしています。
1:26:42	今回は、

1:26:45	一応念のため聞いときたいんですけど、この前話してて、19 番なり 29 番といったときにですね、
1:26:52	郵政のところだけ、文章で
1:26:56	記載をしていただいているところで、
1:26:59	あれですか、もともと直下影響防止のところ、45 番として整理している竜巻と、
1:27:07	50 番で整理してる竜巻があるってことなんですかね、結構 10 番が飛ぶもの。
1:27:13	45 番は飛びはしないけど、周りに迷惑かけちゃうかもっていう系統の話が整理してるって思えばいいんですかね。
1:27:21	八木沢でございます。おっしゃっていただいている通りです。
1:27:26	規制庁のフジワラわかりましたで、50 番にいったものは基本的に 29 番の固定固縛のところということで理解しました。
1:27:36	さっき少し話にも、話題にあったに等しいようなところの、風荷重にはもつけどみたいなものがある部分については、19 番の方に、
1:27:49	ていうので環境条件の方で 1 個つく感じになるってことですかね。
1:27:53	はい。逃げるイシダでございますはい。風荷重にもつという部分は 19 番で受けて、さらに飛来物に対して云々というところは、固定を
1:28:05	飛来物に対してはカセでこけるのは、
1:28:10	木内救急の方にそこに結びつけるということで 19 番で 1 回全部変えて、
1:28:15	今、
1:28:17	いきなり、
1:28:18	21 番特権
1:28:23	みよ。
1:28:25	ちょっとそこを見て整理するか。
1:28:27	多分わかりやすく抜け漏れがないように見えることが大事なのか。はい、宮城です。はい、古作です。ごめんなさい。
1:28:36	まさに、その観点で他にもいっぱいちょっとあって、
1:28:40	今回、表、
1:28:43	を作っていた、今回というか前回か、見ていたらですね、基本設計方針、事象いろいろ書いてあるんですけど、
1:28:54	網羅してあったってところがちょっとよくわからなくて、
1:29:00	まず話題にしてる一睡も読めないんですよ。
1:29:05	性要因としての配管破断については、それぞれ明示してあるんですけど、異なる一声が明示的に見えなかったり、それによって、
1:29:18	どこの枠でどうしてんのっていうのがわからないってことがあって、

1:29:23	同じよう 2SA要員としての火山、
1:29:28	の降下火砕物についても明示されてないと。
1:29:33	というようなことで
1:29:36	どうなってたんだっけってのはちょっとわからないんですけどそのあたり、
1:29:40	拾い漏れがないようにっていうチェックされてます。
1:29:48	はい。日本原燃の瀬賀です。今、コサクさんのご指摘は、本日の
1:29:54	点としてまとめている資料の中に、
1:29:58	まさにそういう溢水だとか、火山といったキーワードが見えてないと。
1:30:04	いうご指摘という理解で。
1:30:07	正しかったですでしょうか。
1:30:08	ミツハシ。
1:30:11	ケツクアノ。
1:30:14	委員 1 点なんです。
1:30:19	多分、ベップの文章はドアノ先ほど言ったように、私としては、これはどうでもよくて、
1:30:26	基本設計方針なり説明すべき項目の中で、位置付けをちゃんと網羅して見えるようになってるのかっていう整理状況を知りたい。
1:30:38	ですね、少なくとももう基本設計方針では見えないところが現状であって、
1:30:43	それを漏れないように説明項目を整理し、その上で、基本設計方針にフィードバックするかどうかっていうのを採用していくっていう流れだったと思うんですけど。
1:30:55	その入口たちの作業ちゃんとできてますかっていう質問です。
1:31:01	はい。日本原燃の瀬川です。そういった観点ではですね昨年末までに、今の現状の基本設計方針案に対して、
1:31:10	読み切れない現象に対してはここを設計方針とりあえず紐づけて読みますよう、
1:31:16	という整理はさせていただいたつもりです。それに対しての設計基本設計方針へのフィードバックですね、こちらの方は実態として、
1:31:27	作業はしておりません。はい。
1:31:34	とは言っても、
1:31:37	旋風。
1:31:40	ミイの中では、うちでその基本設計方針、
1:31:44	追加をしていたり、
1:31:46	いくつか考えてはおられたと思うんですね。

1:31:51	その中で先ほど言ったその火山であったり水であったりっていうのがまだ見えない状況なんですけど、これはどういう状況なんですか。
1:32:03	はい。日本原燃の瀬川です。
1:32:05	口をですね。
1:32:07	項目としては、グレーハッチングの形ですね、火山とか溢水というの も、記載を追記しているつもりではあるんですが、
1:32:19	ただちょっともう、網羅性という意味では、
1:32:22	少し政府が、
1:32:24	落ちる、落ちてるかなというふうに思っております。アノというのはです ね、実際には、
1:32:31	8条とか12条の資料2を作りまして、
1:32:36	設計基準で考えている設計項目立てですね、そこでやろうとしていること を、一斉に種置き換えてそういった項目出しをしなきゃいけないのかと いうのをまず
1:32:48	設計基準側で整理とあわせて整理してますんでそれを、36条の資料2 の方にですねフィードバックかけて委嘱するというようなそんなプロセス で作業しましたので、
1:32:59	そういう意味でアノコサクさんが指摘されるようにですねちょっと足りない んじゃないかという部分が、
1:33:03	と思います。以上です。
1:33:07	はい。コサクです作業プロセスは私がイメージしたことと、
1:33:11	その通りだったので、その上でどこに入れりゃいいんだよ、書いてねえじ ゃんみたいなところを、
1:33:19	カー今見えていってとりあえず埋めてはいるけどっていう。
1:33:24	ことの横ですけど。
1:33:27	そのあたり、
1:33:30	すみません、そのグレーハッチングのところまで見切れていないんで、
1:33:35	その辺りのポイン等、
1:33:39	概要として、
1:33:42	整理していただいて、こういうものはこういう、
1:33:45	状況になっているので今後こういうふうに対応していきたいみたいなこと を、
1:33:51	説明いただけるといいかなと思いますけどよろしいですか。
1:33:57	はい。日本原燃のセガワです承知いたしました。
1:34:02	藤原さんどうぞ。
1:34:05	規制庁の藤原です。
1:34:09	治療この資料で、

1:34:11	確認したい部分は、
1:34:15	私の方からか。
1:34:16	少々お待ちください責任、すいませんこのシニアの中で、まだ検討中と いうか、精査をしなきゃであったり、
1:34:27	最初のページですかね、にまずあったと思うんですけど、
1:34:31	そのあたりの整理状況を聞きたいんですが、1 ページ目の未対応事項 のところ
1:34:37	今回のヒアリングを受けてまだ作業もいろいろとありますので、それ。
1:34:43	踏まえてってことにもなってはくるんですけど、だんだんと作業すればいい ものもあれば、
1:34:50	表現方法とかですわねそういったものはいいかと思うんですけど。
1:34:54	接続口位置的な差に関する設計の紐付け先だからこれもちょっとあれ ですかね今回のことから少し、
1:35:01	影響受けるのかもしれないですけどまだ精査とかっていうふうになって いるものって、今どういう状況なのか聞かせてもらえますか。
1:35:11	はい。日本原燃の瀬川です。
1:35:14	えーとですね、ちょっと精査という形にはなっておるんですが、
1:35:20	最後ちょっと伊シハラとの認識合わせをやってですね、原燃としての考 え方のスタンスをまとめるといったところ。
1:35:29	のフェーズで、
1:35:31	ちょっと先に進めてないというのが実態でございました。
1:35:35	早々にですね、一社ハラと相談して、こういう、こういうやり方でいこうと こういう考え方でいこうというのを、まとめてですね、次の資料提出の際 にはですね、その考え方も含めて、反映してお出しできたらなと考えて おります。以上です。
1:35:53	規制庁の藤原です。具体的にはこの接続口とかのあれですかねタテの 方の扉としてみたいな、考えるかみたいな話とか、それぐらいですか。 今、検討段階で
1:36:06	それから認識合わせみたいなところの部分は、
1:36:10	はい。日本原燃の瀬川ですご指摘の通りです。三つ目のポチだけす ね、上はもう、やりたいことは文章中表現できておりますので、ただそれ を、
1:36:20	先ほど、今回の資料において、添付していませんでした添付 1 だとか添 付 2 の方に情報として反映できてないというだけの、
1:36:33	ものが、上から一つ目二つ目四つ目のポチになります。更新そのもの の認識合わせができてないのが 3 ポチ目のものだけということでござい ます以上です。

1:36:47	はい。規制庁の藤丸です。わかりましたじゃ、ここの部分は早急ということなので、21日にこのペーパープラスアルファ少しあれですかね、スイカ分を含めて整理されたものとともに、ここでの考え方、
1:37:02	が、整理されて出てくるという認識しましたけど大丈夫ですか。
1:37:09	はい。日本原燃の瀬川ですはい。しっかり反映したいと思います。
1:37:14	規制庁の藤原です。すいません。補足です。今の点でちょっと追いつけてなかったのですが、
1:37:23	接続工程、結局多様性位置的分散の中の説明項目っていうこと。
1:37:30	なので、
1:37:31	まずは、先ほどの話でいうと1回個別に行って、菅。
1:37:37	全体の関連性を踏まえた配置設計なり何なりということを、
1:37:42	した上で2、
1:37:46	風戸の対応で説明すべきことを抽出して、関連する場所につなげるっていうこと。
1:37:54	だと思ふんそうすると何が懸念事項として残るのがちょっとよくわかんなかったんですけど、何ですかね。
1:38:04	はい。日本原燃の瀬川さん野瀬整備の、
1:38:07	方向性を、は、今コサクさんがおっしゃられた通りですね、個別に1回当たってからっていう流れでは、対応するんですけども、そのあと、最後は地上側にあてに行った時にですね、
1:38:21	建物の設計方針に充てるのがベストとか、屋外の設備野瀬設備設計の設計方針を語るところに充てるのがベストなのかと。
1:38:31	言ったその最後の宛先ですね、そこをちょっと今決めあぐねてる。
1:38:36	というのが、今回の未対応事項で言った部分になります。なのでこれまでの議論を踏まえた整理を踏まえてですねその中の一環で、
1:38:48	最後こういったところに、設計方針預けに行きますよという考え方も含めて提示できればなと思っておりました。以上です。
1:38:57	古作です。それで言うと、接続孔だけじゃなくて他の位置的分散もなんですけど、
1:39:04	1回個別ニツタ等は地上に持っていきますかっていうことから含め、
1:39:11	だと思ふんですけど、一通り乗ってくっていう発想ではいるんですか。
1:39:17	はい。日本原燃の瀬川です一通り持ってくるのだろうなというふうに思っていました途中で、個別条文止まりっていうのは、
1:39:24	基本的でない。
1:39:26	のではないかなというふうに今思っております。
1:39:30	楽ですそうすると一。

1:39:33	じゃあ、わかりやすいのかというと、可搬SAの指摘物さんは、第8条のどこに持ってくんですか。
1:39:44	はい、日本原燃の瀬川です。
1:39:46	と可搬型Ss-Dの1滴分散につきましては、屋内の屋内に保管するものと、屋外に保管するもので、宛先が違っているとしまして、
1:39:58	屋内に保管する、可搬型SA設備、これは屋内の健全性確保の一環ということで、各現象で語っている屋内設計を語っている部分。
1:40:09	ここに基本的には挙がってるのかなと思っております。屋外は、同じですね、屋外設計を語っているところ。
1:40:18	竜巻であれば竜巻19に充てるのかなというふうに考えてました。
1:40:25	とコサクです。竜巻19というのは山の方針なんでしたっけ。
1:40:30	セガワですけれども屋外の防護対象設備の設計を語っている方針になります。
1:40:38	いや、それって棒するっていう設計。
1:40:43	であっては1で云々という話ではないですよ。
1:40:50	ですけど、苦し紛れ2ひもづけはしますっていう。
1:40:54	ことなる。
1:40:56	リスク管理っていうかあれか。
1:40:58	それ以外のその環境条件とかの、
1:41:04	要求がかかっているんで、それとセット
1:41:10	竜巻19のところでの説明で説明していきますと、
1:41:16	まずは1滴分散がありまして、SA特有として分散がありまして、その上で、この程度は、
1:41:24	守っていきます。
1:41:25	ということん。
1:41:27	セットで説明されるってことですかね。
1:41:29	ヤギのイシダでございますはい。考え方今やってることはそういうことです。
1:41:35	児玉です。わかりました。それで今回の資料、整理していただくっていうものが、まさにその後の、ここに当てはまってくるんだということで理解をしましたので、
1:41:47	はい、お願いしますでそうすると、
1:41:51	先ほどの接続も同じじゃないですか。
1:41:56	それがオクない何とかオクボヤノカナイヤマシタそれだけですか。
1:42:01	はい。同じだと思っております。
1:42:08	昨日、そうすると一井清としてのオリジナル部分でもあるので、
1:42:14	屋内の方でも、

1:42:16	オリジナルとして屋外の部分の要求も念頭に、なぜならアクセスルートとかがあるんでって、
1:42:24	屋外アクセスルートがあるんでっていうことを、
1:42:27	でも済むような気はしますし、
1:42:32	実際の設置場所が屋内だとすると、屋内での配慮事項っていうのは一通り対応しなきゃいけないって先ほどの溢水も含めてですね。
1:42:41	てなると屋外に入れちゃうとちょっとしんどいかなって気はするんですけど、どうですかね。
1:42:50	日本原燃の瀬川です今コサクさんがご指摘された通りで屋内を踏まえてしっかりしなきゃいけないのはそういう認識ではございました。なので切コウノ、
1:43:00	紐づけ先としてはですね、屋内の設計を語っているところに紐づけるっていうのを原則とした上でですね、さらに5ページの上から4行目のところで参考で36条の41。
1:43:15	ですね。
1:43:16	先ほど来出ているアクセスルートっていうようなキーワードを踏まえての配置設計というのも、具体的に要求されておりますので、この
1:43:27	41番の設計に対する答えというのをどこに充てるかといったときに、これを屋内に充てるのか。
1:43:36	屋外設計側に充てるのか、そういったところをちょっと決めなきゃいけないなと思っていたところでした。
1:43:44	要は、建物にアクセスするための
1:43:48	扉ですね、扉を、違う面に設けるんだと、それはアノが外部衝撃なんかをちゃんと意識してですね、同時に機能喪失しない扉を選定するんだと。
1:43:59	いう、コモリがこの41条の41番の要求にあると思ってまして、それに対する設計を語るのであれば屋内設計を語るよりも屋外設計で語る方が、
1:44:10	いいんじゃないかなというのが、今考えてたところでございます。以上です。
1:44:16	はい。補足です。大体わかりました。そうであれば、屋外と屋内に分かれるのでその関連性をちゃんと紐づけるとかですね。
1:44:26	しといていただいたらわかるのかなと思います。
1:44:30	大分クリアになったと思いますのでいただければいいかと思います。以上です。
1:44:42	規制庁の藤原です。私からこの資料について確認は以上なんですけれども、これ以外に、規制庁側から何か確認事項ありますでしょうか。

1:44:55	コサクです。今日の資料ではなくて前回の資料での添付の中なんですけど、
1:45:05	例えば、
1:45:06	SAのほうの 36 条の 17 番で、
1:45:10	飛ばし先に 32 から 35 って書いてあって
1:45:14	32 から 35 って何だよってなると、
1:45:19	あ、すみません、17 番は常設の方針、32 から 34 は可搬で 35 は接続コウで止まって、
1:45:28	何かひもづけの仕方変じゃないとかですね。
1:45:31	ええ。
1:45:33	所々よくわからない。
1:45:36	のがあるんですよ。
1:45:38	あとは、
1:45:42	紐づけて、今今野もその 35 っていう、
1:45:46	中盤での第
1:45:49	応答宣言の、
1:45:51	ここにひもづけだったりもするんですけど、
1:45:56	とそういった階層のところでもちょっとずれが生じてないか。
1:46:00	という読み込みがいくつかあるんですけどそこら辺ってチェックできてすぐ、
1:46:06	来てますっていうか、あやしいなと思ってんですけどそこら辺の関連性を図形
1:46:14	樹形図で書いて、
1:46:17	認識合わせをしてみたいなこと等もしてたと思うんですけど。
1:46:21	それ、今どうなっていますか。
1:46:29	はい。日本原燃の瀬川です樹形図は 1 度、整理はしたんですけども、
1:46:36	ちょっとその当時からもう少し今紐付けの、
1:46:42	まさに 36 条のちゆ、14、
1:46:45	みたいなところを冒頭宣言に位置付けてそれ以降に具体設計を展開するとかっていう、今回の別添で示してるようなですね、考え方たに従ってですねちょっと
1:46:57	要求種別の立て付けも変わってきてるのが実態ですので、ちょっと今一度ですね樹形図、しっかり整理させていただいて、
1:47:07	ご説明をさせていただければと思います。以上です。
1:47:11	はい、補足ですよろしくお願ひします。で、それに加えて先ほどの網羅性の話になるんですけど、

1:47:19	多様性独立性位置的分散の基本設計方針で、位置的分散ばかりが目についてですね、多様性独立性の考えてどこにあるのっていうのがわからない感じがするんですけど。
1:47:32	この辺り、衛藤なってます。
1:47:43	はい。日本原燃の瀬川です。
1:47:46	えーとですね、増設の例でいきますと、
1:47:51	割と0四方。
1:47:56	藤施設、
1:48:03	ちょっと待ってください。
1:48:06	はい。
1:48:10	そうそう、そうですね。すいません。えっとですね、まさにこの多様性独立性の部分の預け方。
1:48:19	というのが、前回議論になりまして、
1:48:23	ちょっと場所が全然よくないですけども、36 ページの一番下ですねグレーハッチングかかっているところ。
1:48:31	前回先週はですねこのNo.16 から、この多様性とか独立性を、個別事故状況に飛ばせばいいんじゃないかというのを提案させていただいてたんですが、
1:48:43	そもそも今日のスタンスでは全事象から飛ばすっていうので16 番だけじゃなくてそれ以降の10、18 以降、17 番以降もですね、からも飛ばすっていうような清木に変えようと思っておりましたので、
1:48:55	そこがちょっと反映されてないという意味で、なかなかアノコサクサノ印象で、全然フォローできてないんじゃないかという印象に繋がったのかなと思いました。一応
1:49:05	認識はしている。
1:49:07	36 ページと37 ページで書こうとする内容を、ちりばめたいという思いは、
1:49:13	ございます。以上です。
1:49:16	とコサクです。
1:49:18	今回紐づけていうだけではなくて、どの場、基本設計方針で、どういう多様性、独立性の視点を持つ必要があるのかっていう、
1:49:31	具体の紐付け先をどこに思うかっていう紐づけもトダ。
1:49:37	考え、
1:49:38	やって、
1:49:39	今言われたは、
1:49:42	36 条の16 って、重大事故人における条件なので、
1:49:49	うん。

1:49:50	うん。0なのかっていうのがちょっとよくわかりません。一番ぴんとくるのは、SA要件として
1:50:02	発生要因となっているものを、
1:50:05	あれば、そこでTBLの機能喪失があると、その機能喪失の所、
1:50:11	今日において機能を引けるようにしますっていうのが、
1:50:15	まず一番の、その多様性独立性の視点であるので、そこをしっかりと押さえておくプラス何か考えることがあれば入れていくと。
1:50:27	いうことだと思いますのでその点も、次回、整理していただけるかなと思うのでお願いします。
1:50:36	はい。日本原燃のセガワで承知いたしました。
1:50:40	衛藤コサクですねもう1点、ハザードのところでも網羅性っていう話の一番気になってるところなんですけど、地盤の記載がすごい薄いんですけど、
1:50:53	何ですかね。
1:51:02	何でっていうのは基準要求として地盤は常設しか書かれてなくてっていうことの原因はわかってるんですけど、一方で、じゃあ、
1:51:13	可搬型の保管場所、
1:51:16	地盤ってどう考えるのっていうと、
1:51:20	考えていただいていると思ってて、
1:51:23	その表現に、現状だとその地震っていうのを上げながら、地盤の方、
1:51:29	ことを挙げていてこの記載ぶりってこれ本当にいいのかなっていうのが、気になったところだったんですけど。
1:51:35	何か経緯ありますか。
1:51:38	はい。日本原燃の瀬川です。
1:51:41	えっとですね可搬型の地盤についてはですねナンバー26とか2740ページですね。
1:51:49	26とか27なあのところで、
1:51:53	一応その地盤に対する言及が27号、40、
1:51:57	26と20カタカイ血族
1:52:01	ん新風の設計方針しか語ってない。
1:52:05	多分地盤の支持性能のところは、この地盤の支持力の不足とか、そこら辺の要因で呼び込んで地盤を、の要求をダイレクトに読んでないんで言えば、行政共振上も、
1:52:22	そうですね。
1:52:25	ただ本店は見てるミッション基準。
1:52:30	送られアノコサクです。聞きたかったのは、まさにそういうこと。
1:52:35	Sで、何らかの意味合いがあって公開。

1:52:39	たのかなと思いつつですね。
1:52:42	結局これ、これによってどういう差分があるのかとかですね、そこら辺をちゃんと整理をして、先ほども環境条件で差分があればそれを明確にしてっていうのと一緒に、
1:52:54	こういった点もわかるようにしていただければいいかなと思います。
1:53:01	はい。日本原燃のセガワで承知いたしました。
1:53:09	規制庁の藤村です。その他、規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:53:16	となければ、
1:53:18	振り返り、
1:53:19	全体通してになると思いますけどその前に1回休憩とか、必要でしょうか。日本原電いかがですか。ごめんなさいコサクです。もう1点だけ、ちょっと細くなっちゃって申し訳ないんですけど。
1:53:30	36条の48番。
1:53:33	音声方なんですけど、
1:53:37	現状の記載だと、
1:53:39	水泡に対しての、
1:53:44	設置の方針っていう、
1:53:47	形に、
1:53:51	いるんですが、
1:53:55	そ、それで本当にいいですかっていうのがちょっとよくわからなくてですね。
1:54:10	宇津木甲斐資料の47ページで48番が、可搬型放水砲については、
1:54:18	で載ってるんですけど、
1:54:22	どういう。
1:54:25	何でしたっけ。
1:55:02	野瀬がちょっと全体網羅できてるかっていうのはあるんですが、
1:55:08	放水砲によるその水の影響として、例えばウランプルトニウム混合脱硝建屋なんかは補プール粉末扱ったりしますんで、
1:55:19	そう言った観点ではその対象によって臨界に至らしめるような、そういう観点ですとか、
1:55:27	あとは対象設備も、独自に使用してる場合もございますのでそれを水をさせてですね機能喪失に至らしめる、そういった観点をカバーする観点でこの48がいたというふうに記憶してございます。はい。以上です。
1:55:44	とコサクです。今、2点お話をされてたと思うんですけど。
1:55:48	かけるときに配慮するということと、
1:55:53	対処の時とはちょっと別だと思う。
1:55:56	対象設備についても別だと思ってて、

1:55:59	対象設備は、
1:56:03	放水してる中、機能を維持するっていうことは、やるんじゃないかな。要は、降水にも耐える設計してりゃ十分だと思うんですけど、
1:56:16	それって、運用要求のためになります。
1:56:26	はい。日本原燃の瀬川です被害をこうむる側、
1:56:32	ですね、対処設備側に、例えば運用要求じゃなくてきちんと機能要求が払われるべきかなと思います。
1:56:41	一方でこのハウスイ、
1:56:43	する側、加害者側、
1:56:45	についてはあんまりそんな、
1:56:48	対象設備をねらってですね、汚水するようなことがないようにということで、
1:56:54	の運用というふうになんて整理してたところでした。
1:56:59	とコサクです。少なくとも、降水と同じ条件であり、それについては対応をとりますということであれば、環境条件の降水に紐づけさえすれば、設備としてはいいと思うんですけど、
1:57:13	もう一つは運用要求だっというんだったら、運用要求として受けて保安規定っていうところの紐付けも必要じゃないかなと思いますし、いずれにしてもちょっと分解が足りないかなと思いますので、整理をよろしく願います。
1:57:28	はい。日本原燃のセガワです承知いたしました。
1:57:32	藤原さんすいません。以上です。
1:57:35	はい。規制庁の藤原です。その他、この資料、
1:57:39	等について、何かなければ振り返りの方に入りたいと思いますけれども、現年振り返りはこの続きのままでやるのか少し受けアサノ方がいいのかどちらですかね。
1:57:52	はい。よりイシダでございます。ちょっと休憩を1回は済ませてください。
1:57:58	はい。規制庁の藤村です。そしたら今、約40分ぐらいなんで50分ぐらいまで大丈夫ですか。
1:58:06	はい。大丈夫です。はい一旦、5時10、50分まで休憩としますので、
1:58:14	一旦レコーダー提出していただいていいですか。
0:00:00	今回しました。
0:00:01	はい、それでは本日の振り返りの説明を簡単に説明お願いしたいと思いますよろしく願います。
0:00:09	はい。宮城ニシダでございます。まず審査会合資料のの、になります。

0:00:16	大きく呉ナツメンだけ、振り返りでご説明します。過去の審査会合を踏まえた経緯のところ、最初に廃棄物管理のところの記載ですね、これがちよつと
0:00:28	なぜ時間がかかっているのかという経緯との関係でいくと記載が薄いところもあるので、今、どういう点をやっているとかが具体的にわかるように、時間がかかっている要素との関係も含めて記載を拡充するということ。
0:00:42	当MOXの説明グループの評価のところの記載ですけども、そのあとに出てくる呉、解析評価のところのリードになっている、10 ページのところとジョイントして前の方に持ってきてですね。
0:00:55	記載を整理をするということで、いきたいと思います後は、
0:01:05	須藤は、
0:01:09	解析評価のところの 7 ページ以降について表ですねこれでこの表の目的だったりあと凡例だったり足りないところがあるので、そこの全体整理をすると。
0:01:21	ということです。
0:01:22	はい。
0:01:25	は、それぞれのパートでそうですが 13 ページの 4 の構成ですね、資料 4 の前に入っている
0:01:35	個別のパターンごとの経緯とかどういうところを拡充したかというページが入ってますけど、これは別冊にして、ナカの方に取り込む形で整理をするということ。
0:01:46	あと評価パターン(1)増益ウエダの方でいきますが、25 ページのフローですねこれの評価プロセスのところですけども、吹き出しに書くことを、
0:01:58	整理をしていく必要があると、何をどういう目的で、何を、ここの中でやっていくのか、整理していくのかというような、目的がわかるように、記載をするということと先ほど、
0:02:11	削除で取り、溶け込ませるといった、これまで拡充してきたところのフォーラムで整理をしていくということです。
0:02:18	右下 16 ページの代表のやつは、17 ページの 2 ポツの評価対象の設定の中に取り込んで、全体像を示し、かつその中での、この後出てくる。
0:02:30	評価プロセスの考え方それぞれに対しての代表差分ということの整理につなげていくということ、詳細はその後ろを見てくださいということで紐付けていくという整理をするということです。
0:02:44	で、この評価パターン(1)で、保有特有ということでいくと、右下の 19 ページですね全体で 19 ページのところの漏えい量の設定のところの、

0:02:56	1 バッチってというのはどういうものなのかと、いうこと、あと破断箇所との関係で、どこを漏えい範囲とするかというところが、系統設計の中で、
0:03:06	しっかりと読めるように、漏洩量の設定との繋がりがわかるように、の拡充、
0:03:12	説明の拡充ということをしていくということです。
0:03:16	はい。
0:03:19	あとは全体の構成この後の構成で、代表差分の示し方、結局は代表として1年流しながらも、その差分があったところについてはその項目の中で、代表説明と、こういう部分での差分として、
0:03:35	これこれの機器で、こういうところを説明しますというサブの中に取り込んだ形での構成で全体を流していくということで整理、組み直すということで考えます。
0:03:46	はい。
0:03:51	関係の方も同じような構成の見直しということと、あと
0:03:58	概要が決まって長いところはナカミヨシの追加構成、項目の追加というのも含めて全体整理をさせていただきます。はい。
0:04:08	あとは、この中で評価因子の六つ分の多分マトリックスを作って全体の関係性がわかるようにするということが必要なので、
0:04:19	どれが小土木水関係指導が工程タテに関係するのかということの、関係性というのもその中の一覧表で見せるように追加をしていきたいと思えます。
0:04:31	はい、阿藤、他は修正は同じように修正するし、固有のところだけ、右下ミギタじゃない通しで57ページは、
0:04:42	これ場所がちょっとよくないので、これの話はどうだっけか。
0:04:48	59ページ。
0:04:54	これ、これは水落りポートの中に、はい。2ポツの中にこの57ページのやつを入れていくと。
0:05:04	いうことで整理をします。はい。
0:05:10	はい。
0:05:15	搬送、評価パターンサッコ2の、
0:05:19	宗の方は、同じ先ほど同じように何、81ページのところは、中に溶け込ませるなり、口頭で補足するなりという形整理をしますということ。
0:05:30	84ページ85ページの話、86ページ目、この後、野地医療4の中の対象設備これも2ポツのタイトルが違うので、
0:05:42	あえて合わせながら、評価対象の考え方のところで、代表との関係の説明に結びつけるために、この資料、後ろに持ってきて、2ポツの中で整理をするということです。

0:05:55	修正していききたいと思います。
0:05:58	はい。あとは、97 ページ 98 ページにいきなり表が来てるんですが重量定格荷重とかそれぞれの
0:06:08	方式ごとにどういう設定の考え方で設計をやっているのかということの考え方も含めて記載をしていかないと、単純に数字の比較になってますので、その
0:06:22	記載の確認をしていくということです。
0:06:25	はい。
0:06:27	これが最初にあった審査会合資料でございます。
0:06:32	はい。2 番目の代表の方ですが、
0:06:37	まずは、紙作業プロセスとの関係を明確にするということで、資料 2 から 4 それぞれ代表というのの整理をせえしておりますのでその辺の大枠の考え方、
0:06:50	あと個別の資料ごとでの留意事項とかですね、そういった書き方で全体整理をしていくと。
0:06:56	いうこと。
0:06:57	資料 4 へのからのフィードバックという意味で資料 3 での構造設計の追加だったり、という説明の代表の追加ですね、そういったことも含めて、全体の整理があるということも含めて、記載を
0:07:14	拡充していくということです。
0:07:18	あと大井ミイ丸が幾つかありますが一つ目のババ 0 の中に入った時点の一番最後のやつかな。三つ目は、下から 2 番目の四つ目の丸の中に包絡されるので、
0:07:30	0 点の方を削除して、四つめの○側に預けるという形で整理をします。
0:07:37	はい。
0:07:39	あとは今回こういうマトリックスを作っていきますと言ったイメージですね、資料 3 側でのマトリックスのイメージというのも、
0:07:50	考えた上で、明後日のヒアリング臨むということ。
0:07:55	あと再処理とMOXだったり、MOXでも今後示回動するんだということもありますんで、そういう関係性も含めて代表の考え方を整理していくということです。はい。
0:08:09	これが 2 番目、3 番目のディー・ディー・エス設計等の整理の話ですが、大きくは多様性独立性の話で、36 条から個別の事故条文なりに振って八条にいくと。
0:08:24	いう流れ、まず考えて整理をしていくということ。

0:08:30	その際に、許可約束事項基本設計方針に対してどういう設計をするかということの大枠の、共通的な設計の話とイレギュラーパターンというのをしっかり整理した上で、
0:08:40	その入れパターンも含めて、代表者分の関係でどう説明するのかということにつなげられるようにするという事。
0:08:48	あとは悪影響防止と環境条件、とは位置的分散も含めて、関係性だったり重複があったりというところの整理を進める必要があるということ。
0:08:59	あとはですね、冒頭制限の降り方が、多少、多少じゃないか、乱暴なところがあるので、
0:09:09	年末に作った樹形図でもう1回整理をしようということでございます。
0:09:15	はい。
0:09:20	あとはですね、天満前を出した添付の中で、多様性独立性の記載が薄くてんや見てるのかどうか分かり、わからないという点と、
0:09:30	それとこれは並行してやらないといけない地盤のところ、やっていることはやってると思うんですけどその辺の設計基準の関係。
0:09:39	あと36条の48番の放水砲の記載ですねこれが、実際自分で耐えなきゃいけない部分は、環境条件が出てることと同じだろうということも含めて、整理が必要だという、
0:09:51	円だったと思ってます。
0:09:54	はい。0。
0:09:58	最初の項目の審査会合資料は水曜日の午後もヒアリングがございしますが、基本、今日いただいたコメントを、
0:10:07	伴サノ中桐、水曜日にお出して金曜日ヒアリングなってますので、この資料に反映をしていくと、できてないところができてないことを明示することとさせていただきます。
0:10:19	2番目の代表の話は、
0:10:23	水曜日、提出、金融木曜日か木曜日費用で今スケジュール通りのスケジュール感で整理を進めて、先ほどの明後日の午前中のヒアリングでの、
0:10:35	整理を当然ながらした上で、資料自体は水曜日の夕方だして木曜日の午前中の進め方部屋の中であわせてやらせていただこうと思います。
0:10:46	はい。スタート問題は最後のDSですけども、加えさせていただいたように今現状21日にスケジュールになってます。
0:10:57	結構やることが多いので、ここもですね、21日にお出しするときに、現時点で整理できていることを整理しないといけないことはわかっていながらまだ整理できてないことでそれをできてないことは、

0:11:10	津田角田出すのかということを確認にして 21 日に資料を提出するという ことで進めさせていただければと思います。
0:11:19	振り返り以上です。
0:11:21	はい、ありがとうございます。今の振り返りについて規制庁側から確認 等ございますでしょうか。
0:11:30	あ、規制庁かでちょっとし一つ目の資料の進め方がちょっとよくわからな かったんですが、何を出すっておっしゃってたんですか水曜日のヒアリ ングに備えて、
0:11:40	右のインダでございますが水曜日のヒアリングという木曜日の午後に審 査会合資料の 2 回目の
0:11:51	ヒアリングが入ってまして、
0:11:53	その資料を水曜日の夕方お出しをするということを言いましたので、審 査会の資料としては水曜日の夕方に出すんですけど水曜日に、
0:12:04	午後にあると関連するヒアリングに関しては、今日のコメントを踏まえて どういうふうな修正方針あるかとか、そういったことを口頭で説明する ということです。はい。うちました。以上です。
0:12:18	はい。ありがとうございます。
0:12:20	他、よろしいでしょうか。
0:12:30	はい、じゃあ振り返りまで終わりましたので、本日のヒアリング、これで 終了したいと思います。録音ページをお願いします。